

平成29年度

宇都宮市教育委員会
点検・評価報告書

平成29年8月
宇都宮市教育委員会

～ 目 次 ～

はじめに	1
第1章 教育委員会評価の概要	
1 評価の趣旨	2
2 評価のしくみ	2
3 評価対象・実施期間	3
4 評価の方法	3
5 外部評価委員	3
第2章 平成28年度評価委員の所見への対応状況	
1 教育委員会点検・評価報告書について	4
2 教育委員会の活動状況について	4
3 広報活動について	4
第3章 教育委員会の活動状況の評価	
1 教育委員会の組織	5
2 教育委員の構成	6
3 教育委員会の活動状況	6
4 広報・広聴活動	13
5 教育委員会活動にかかる教育委員の主な所感など	15
6 教育委員会の活動状況の評価	15
第4章 教育委員会施策全般の評価	
1 生涯にわたる学習活動を促進する	18
2 信頼される学校教育を推進する	21
3 個性的な市民文化・都市文化を創造する	31
4 生涯にわたるスポーツ活動を促進する	33
第5章 評価委員による所見	35
おわりに	37
【参考資料】	
平成28年度 教育委員会付議案件等一覧	38
教育委員会施策ごとの施策指標評価一覧	44
一般会計予算と教育予算	45

～ はじめに ～

教育委員会制度は、首長からの独立、合議制、レイマンコントロールにより、教育の政治的中立性、継続性・安定性の確保や、地域住民の意向の反映を図るため、これまで様々な改正を重ねながら運用され、地方教育行政の基本的な制度として重要な役割を果たしてきました。

このような中、平成20年4月の法改正により、教育委員会の責任体制を明確にし、効果的な教育行政に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的に、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことが義務付けられ、本市においても、平成20年度から独自の点検・評価制度を構築・実施しているところであります。

また、昨今のいじめ問題を契機とした、教育委員会の責任所在の不明確さ、危機管理能力の不足などの課題が指摘されたことから、国において教育委員会の存続を含めた議論がなされた結果、平成27年4月の法改正により教育委員会制度改革が行われ、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化など、教育委員会がその職責を果たすことがますます求められております。

本市教育委員会においても、教育委員会制度改革に伴い、平成28年4月より教育長を代表とする新体制に移行し、総合教育会議などを通じて、市長と教育委員会とのより一層の連携強化を図っているところであります。

また、教育委員会会議において、教育行政にかかる基本方針や計画策定などの重要事項について審議するとともに、教育施設等への視察や教育関係者との懇談会などにより現場の状況を把握し、事務局との意見交換により教育施策への理解を深めながら、教育現場の意向や実態をより反映させた会議の運営に努めております。

本報告書では、平成28年度の教育委員会の活動状況や教育委員会が実施した施策全般について、外部評価委員のご意見等をいただきながら、点検・評価を行った結果をとりまとめました。

この結果を今後のさらなる効果的な教育行政の推進に活かしてまいります。

平成29年8月

宇都宮市教育委員会

～第1章 教育委員会評価の概要～

1 評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下、「法」という。）」第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、宇都宮市教育委員会が実施する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施する。

＜地方教育行政の組織及び運営に関する法律抜粋＞

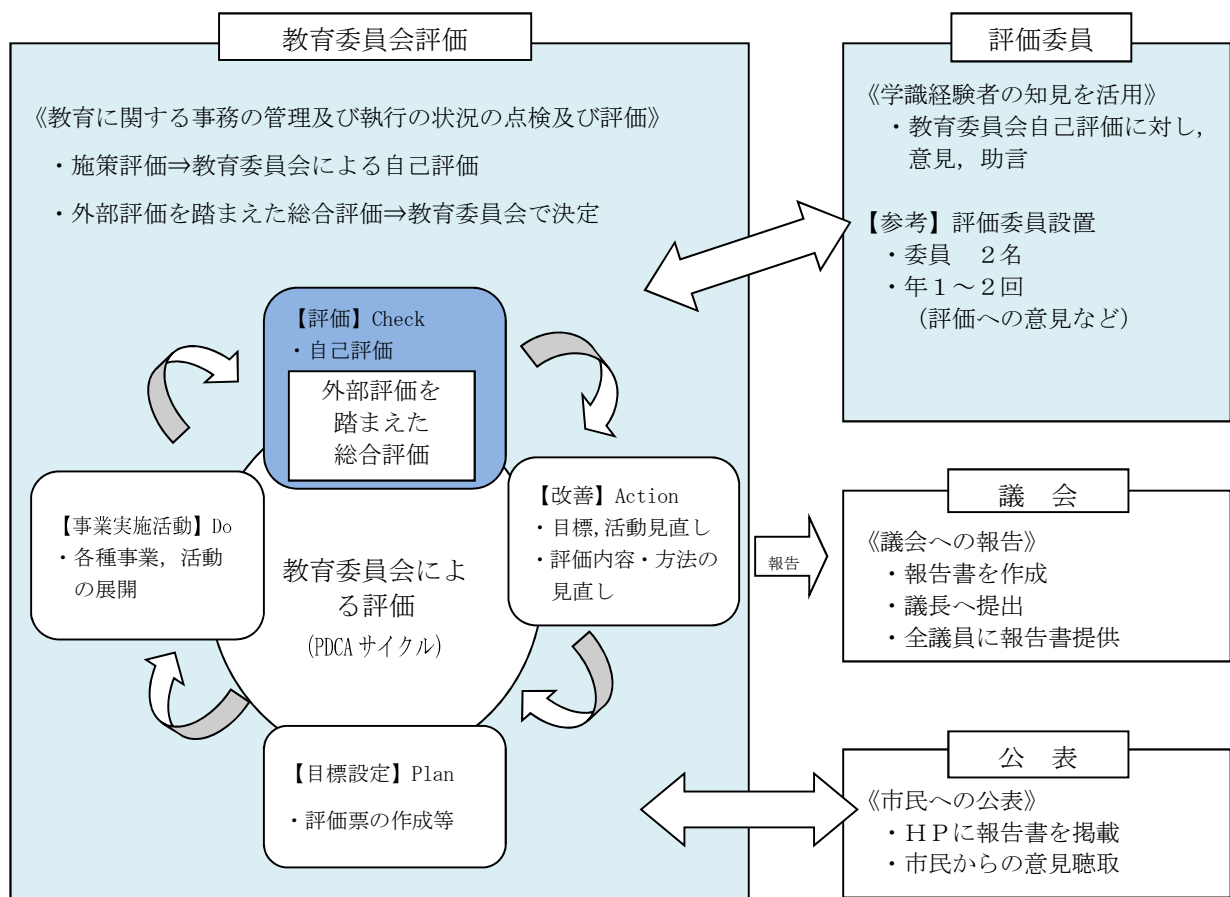
（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 評価のしくみ

教育委員会により自己評価を実施し、外部評価委員の意見を踏まえ総合評価を行う。



3 評価対象・実施期間

(1) 対象

平成28年度実施の教育行政全般とする。

- ◆教育委員会活動状況
- ◆教育委員会施策全般（行政評価を活用）

(2) 実施期間

平成29年4月～8月

4 評価の方法

(1) 自己評価

- ・各主管課及び教育委員会による自己評価の実施

(2) 自己評価に対する評価委員からの意見の聴取

- ・教育委員会評価委員会議における意見の聴取
- ・評価票による意見の聴取

(3) 総合評価

- ・評価委員からの意見等を踏まえた総合的な評価の実施
- ・次年度への課題，今後の方向性の明示

5 外部評価委員（学識経験者）

専門的かつ広い観点からの知見を期して，本市教育行政に大きく携わり，学校教育，社会教育全般における識見の高い方からご意見をいただく。

氏名	団体・役職名
渡邊 弘	作新学院大学学長
伊藤 三千代	晃宝宮っ子ステーションコーディネーター

～第2章 平成28年度評価委員の所見への対応状況～

1 教育委員会点検・評価報告書について

No.	評価・意見	対応状況
1	・報告書の作成については、注釈を加えるなど、分かりやすいものになるよう工夫されているが、市民に内容を理解してもらうために、もう少し文章量を減らすなど、ポイントが分かるよう工夫していただきたい。	・市民に分かりやすく、理解してもらいやすい報告書となるよう、ポイントを絞りながらも内容の充実を図るなど、今後も継続的に工夫改善していく。【p9～p12】
2	・1回の会議で扱う案件数を分かりやすくするために、参考資料の付議案件等一覧を、案件の種類ではなく日程ごとに記載してはどうか。	・参考資料の付議案件一覧については、開催回ごとの付議一覧に変更して掲載した。【p38～p43】
3	・活動の成果が分かりやすくなるように、教育委員の所感を報告書に記載してはどうか。	・教育委員会の活動状況にかかる教育委員の所感などについて、新たに記載することとした。【p15】

2 教育委員会の活動状況について

No.	評価・意見	対応状況
1	・会議、視察等の活動について、開催回数や実施内容は妥当であると評価できるが、教育委員の負担も考慮し、教育委員の意見を踏まえながら、開催回数や内容を検討していただきたい。	・教育委員会活動にかかる教育委員の意向調査を踏まえ、活動計画の検討や活動状況の評価を行ったところであり、教育委員からも妥当な内容であったとの所感をいただいていることから、今後も効率的・効果的な活動に努めていく。【p15】

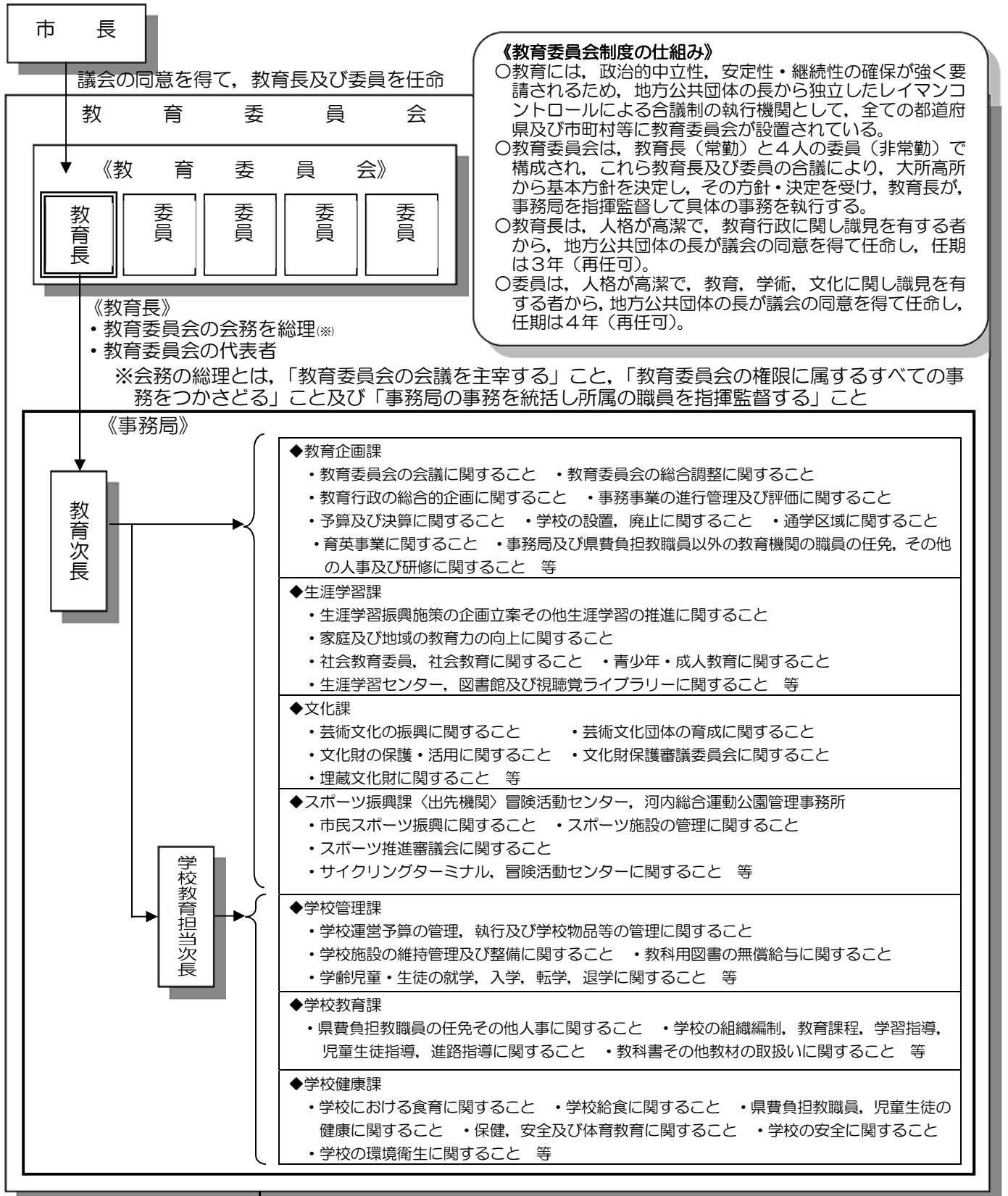
3 広報活動について

No.	評価・意見	対応状況
1	・本市教育委員会のホームページが、今後より一層多くの市民にアクセスされるような改善工夫を期待する。	・平成28年度の市ホームページのリニューアルに伴い、新たに教育委員会専用トップページを作成し、市民から見やすくなるよう階層のシンプル化や、積極的な新着情報の掲出を図るなどの改善を行った。【p13】
2	・広報活動は充実していると評価できるが、実際に広報物を手に取っていただくためには、配付時のフォローが必要である。「教育委員会だより」等の広報物は、ただ渡すだけではなく、学校等と連携しながら、保護者が手に取って配付物を開く機会を設けるなど、工夫の余地がある。	・「教育委員会だより」については、学校に対して保護者への配付を依頼するだけではなく、教育情報システムにより、電子データを提供し、校内研修や保護者会等における「教育委員会だより」の活用を依頼するなど、学校と連携した広報物の配付のための工夫を行った。

～第3章 教育委員会の活動状況の評価～

1 教育委員会の組織（平成28年度）

※法改正に伴い、本市では平成28年4月から教育長を代表者とした新しい教育委員会体制に移行



学校その他の機関を所管

小中学校 (93)	教育センター (1)	上河内学校給食センター (1)	図書館 (5)	生涯学習センター (18)	視聴覚ライブラリー (1)	美術館 (1)
--------------	---------------	--------------------	------------	------------------	------------------	------------

《教育機関》

2 教育委員の構成（平成29年3月末時点）

職氏名	教育長 水越 久夫	委員 大場 文恵	委員 伊藤 一	委員 山田 葉子	委員 清島 康伸
任期	H28. 4. 1～ H31. 3. 31 (1期)	H19. 10. 1～ H31. 9. 30 (3期)	H25. 10. 1～ H29. 9. 30 (1期)	H26. 10. 1～ H30. 9. 30 (1期)	H28. 10. 1～ H32. 9. 30 (1期)
職業(分野)	— (教育行政)	大学教授 (文化)	弁護士 (法曹)	無職 (地域活動)	会社経営 (青少年育成)

※水越教育長は旧制度における教育長（委員）としてH24. 4. 1～H28. 3. 31（2期）まで在任

3 教育委員会の活動状況

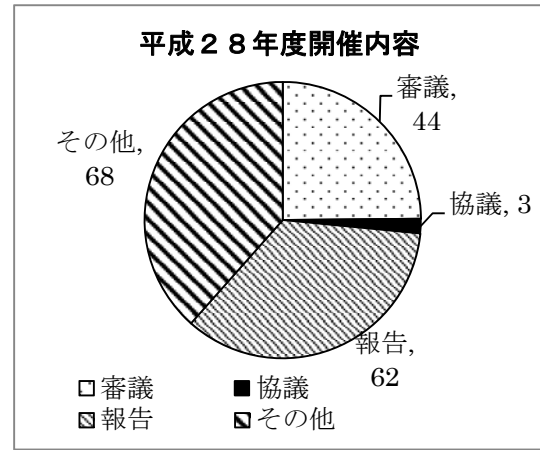
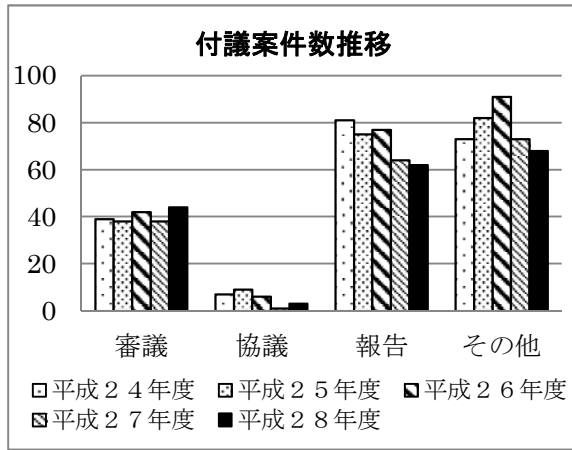
【参考】教育委員会の活動の種類

- 教育委員会会議…教育長及び教育委員が教育行政にかかる基本方針の決定などを行うための会議（法第14条）
- 委員協議会…会議に付すべき議案の事前審議，その他研究協議を行うために開催（宇都宮市教育委員会会議規則第5条）
- その他の活動
 - ・教育施設視察…小中学校や社会教育施設，文化・スポーツ施設などの視察
 - ・教育懇談会…小中学校教職員や社会教育団体，文化・スポーツ団体などの教育関係者との意見交換
 - ・市議会との意見交換…議長，副議長，文教消防水道常任委員会の委員長，副委員長との意見交換
 - ・総合教育会議…首長との連携強化を目的に，教育政策などにかかる協議・調整を行うために首長が設置・運営を行う会議（法第1条の4）
 - ・委員研修等
 - 委員研修：教育の諸課題等にかかる状況把握や専門性を高めるために行うもの
 - 委員deサロン：各課業務の現状・課題等についての共通理解を深めるために事務局職員と意見交換を行うもの
 - ・自主活動…教育委員が個別に行った教育委員としての活動

(1) 教育委員会会議の開催状況

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年比
開催回数	定例会	12	12	12	12	12	0
	臨時会	6	5	6	6	7	1
	計	18	17	18	18	19	1
付議案件数	審議	39	38	42	38	44	6
	協議	7	9	6	1	3	2
	報告	81	75	77	64	62	▲2
	その他	73	82	90	73	68	▲5
計		200	204	215	176	177	1

※市町村平均開催回数 15.5回(平成27年度教育委員会の現状に関する調査(文部科学省))

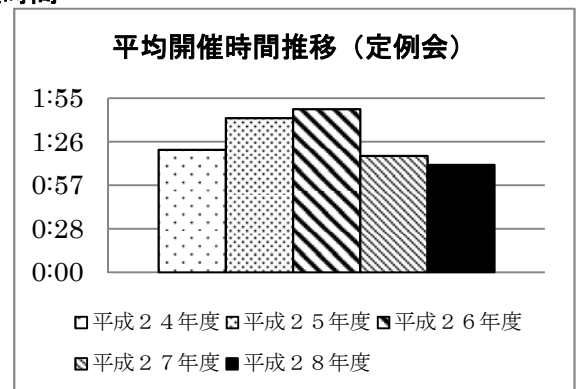


◆平成28年度教育委員会会議の審議件数一覧

事項	件数	主な内容
基本方針及び計画策定等	11	予算編成・組織定員方針，計画の策定など
規則等の制定・改廃	8	諸規則の改正 など
議会の議決を経るべき議案の意見聴取	5	予算，条例改正などの議会議決案件
人事案件	12	職員人事，教職員人事内申，委嘱など
附属機関等への諮問	1	通学区域審議会への諮問
教科書採択関係	3	小中学校使用教科用図書の採択
その他	4	教育委員会評価，文化財の指定 など
合計	44	

◆平成28年度教育委員会会議（定例会）の平均開催時間

年度	教育委員会会議（定例会）	
	平均開催時間	回数
平成24年度	1時間21分	12
平成25年度	1時間42分	12
平成26年度	1時間48分	12
平成27年度	1時間17分	12
平成28年度	1時間11分	12



◆平成28年度教育委員会会議の状況について

- ・ 審議事項については、テクノポリスセンター地区における新設小学校の設置検討にかかる案件が複数付議されたことなどに伴い、前年度に比べて案件数が増加した。
- ・ 協議事項については、案件取扱いの見直しにより、例年に比べて件数が減少しているが、計画策定に伴う協議があったため、案件数は前年度を若干上回った。
- ・ 報告事項については、委員協議会で実施していた「教育委員会主要事業の進行管理」を前年度から報告事項として実施するよう変更したほか、新たに教育委員からの提案による「教職員の負担軽減策の取組状況」の報告を実施したが、新規事業に関する報告数の減少などに伴い、案件数が前年度を若干下回った。
- ・ 会議の開催時間については、案件数が前年度とほぼ同数であったことから、大きな変動はなかった。

(2) 委員協議会

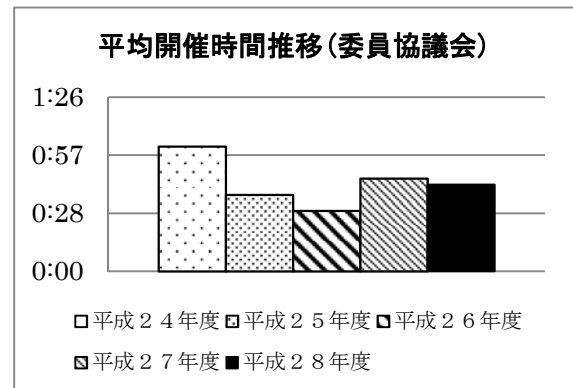
◆委員協議会における主な議題

- ・教育委員会基本方針について
- ・総合教育会議の開催について
- ・教育委員会評価について
- ・教育委員会の活動計画について
- ・教科用図書採択について
- ・委員提案による協議事項の進め方について
- ・卒業式教育委員会あいさつ文（骨子）について
- ・成人式について
- ・清原中央小学校分離新設にかかる今後の進め方について
- ・新設小学校新築工事設計者選定プロポーザルの結果について
- ・包括外部監査結果概要について

など

◆委員協議会の平均開催時間

年 度	委員協議会	
	平均開催時間	回数
平成24年度	1時間2分	12
平成25年度	38分	12
平成26年度	30分	15
平成27年度	46分	15
平成28年度	43分	13



◆平成28年度委員協議会の状況について

- ・教育委員会会議における議案の事前審議や各施策の実施状況の確認，その他教育課題に関する研究討議を行うため，委員協議会を計13回開催した。
- ・開催時間については，「教育委員会主要事業の進行管理」を教育委員会会議の報告事項に変更したところであるが，テクノポリスセンター地区における新設小学校の設置検討などの臨時的な事前協議の案件があったことから，前年度から大きな変動はなかった。



【教育委員会会議の様子】



【委員協議会の様子】

※教育委員会会議と委員協議会を含めた平均開催時間については，案件にかかる説明時間の工夫や，よりポイントを絞った事務局からの説明など，効率的な会議等の運営に努めたことにより年々減少している。

(3) 教育施設視察や教育懇談会、研修会などの活動状況

ア 教育施設視察

実施日	視察先	目的	結果
H28. 5. 30	一条中学校 県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園 ^(※1)	移転改築後の一条中及び新たに開校した青葉高等学園の施設視察	<ul style="list-style-type: none"> 一条中新校舎は快適な学校生活を送るための工夫や地域開放にかかる機能充実が確認できた。 青葉高等学園は、一条中との隣接設置のメリットを活かした教育連携が期待できることを確認できた。
H28. 7. 25	まちかどの学校 ^(※2)	新たな適応支援教室の確認	<ul style="list-style-type: none"> 新校舎の設備や機能などのほか、児童生徒の支援状況について確認した。
	教職員との意見交換	児童・生徒の状況と、学校運営の現状・課題にかかる意見交換	<ul style="list-style-type: none"> 教職員やボランティアが連携・協力し、児童生徒との信頼関係を築きながら、個別支援や小集団活動を通じた支援を行うことが重要であることを確認した。
H28. 11. 25	上河内及び河内生涯学習センター 上河内民俗資料館	改修工事等が完了した各施設の確認	<ul style="list-style-type: none"> 各生涯学習センターは、学習活動を行うに適した機能を有していることを確認した。 上河内民俗資料館では、気軽に地域の伝統文化に触れる機会が創出でき、地域活動と相乗効果が期待できることを確認した。
H29. 2. 2	田原西小学校	タブレット型パソコンの導入及び利用状況の確認(授業参観)	<ul style="list-style-type: none"> グループ学習での効果的な使用など、子どもの学習意欲を高めるためにタブレット端末を活用していることを確認した。
	教職員との意見交換	I C T機器の活用による教育効果や課題などにかかる意見交換	<ul style="list-style-type: none"> I C T機器は学習ツールの1つであり、教師が学習効果を高めるために工夫を行うことが必要なこと、また、発達段階や学習内容に応じて、効果的な活用方法について継続して検討していく必要性を確認した。
H29. 2. 16	市文化会館	大規模改修工事が完了した文化会館の確認	<ul style="list-style-type: none"> ホール天井の耐震化や外壁タイルの補修による安全対策の強化、ホール客席の車いす対応、エレベーター新設、トイレのバリアフリー化のほか、ホール音響設備の改良について確認した。



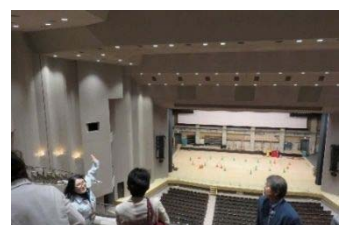
【一条中学校】



【上河内民俗資料館】



【田原西小学校】



【文化会館】

(※1) 県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園

軽度の知的障がいがある生徒の職業的な自立支援を強化するため、平成28年4月開校した職業学科を設置した高等部単独の高等特別支援学校。

(※2) まちかどの学校

不登校状態の小中学生の学校復帰や社会的自立に向け、自信の回復や対人関係力の育成等のための指導支援を専門的に行う施設として、従来の「まちかどの学校姿川教室」と「つげの木教室」を統合し、新たな適応支援教室「まちかどの学校」として平成28年4月に開校した。

イ 教育懇談会

実施日	内容・参加者	テーマ・目的	結果
H28. 8. 19	<p>◆内容 教職員とのふれあいティータイムトーク</p> <p>◆参加者 小・中学校教職員 (採用後5年以内)</p>	<p>◆テーマ 教職員としてのやりがいや課題について</p> <p>◆目的 若手教員の考えや抱えている不安などの実態を把握する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員は子どもと向き合い、子どもの成長を感じたときに一番のやりがいを感じている様子が伺えた。 ・一方、それ以外に関する業務を負担と感じている場合が多く、子どもと向き合う時間を確保するための取組をより一層強化していく必要性を確認した。
H29. 1. 27	<p>◆内容 文化関係団体との懇談会</p> <p>◆参加者 伝統文化連絡協議会、文化財ボランティア協議会、文化財調査員</p>	<p>◆テーマ 郷土への愛着と誇りを高めるために</p> <p>◆目的 伝統芸能や文化財など本市の文化資源の現状や課題などを把握する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体の方々はそれぞれの活動に自信と誇りを持って取り組んでいるだけでなく、本市の文化振興を図るため、課題意識を持ちながら活動している様子が伺えた。 ・また、伝統文化を後世に継承すること、地域の伝統文化を市民に周知していくことが今後の課題であることを確認した。



【教職員とのふれあいティータイムトーク】



【文化関係団体との懇談会】

ウ 市議会との意見交換

実施日	内容	結果
H28. 8. 23	<p>平成 28 年度宇都宮市教育委員会点検・評価報告書の提出及び報告書に基づく意見交換</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会点検・評価報告書の内容をもとに、教育委員会活動などについて報告を行った。 ・意見交換会では、議員の経験に基づく幅広い視点から、「魅力ある学校づくり地域協議会」への取り組みなど、教育施策にかかる貴重なご意見をいただいた。



【教育委員会点検・評価報告書の提出】



【市議会との意見交換】

エ 総合教育会議

実施日	内 容	結 果
H28. 9. 23	本市教育の充実について	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会主要事業の進捗状況についての報告を行い、市長と教育委員会で、教育課題にかかる共通認識を図った。 ・意見交換では、心の教育の推進や家庭教育の充実のほか、いじめ問題などにかかる意見交換を行い、今後の本市の教育の充実に向けて、市長部局と教育委員会が連携を図って取り組んでいくことを確認した。
H29. 3. 27	平成 29 年度教育委員会基本方針 ^(※3) (素案) について	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度教育委員会基本方針（素案）について、市長へ説明を行い、共通理解を図った。 ・特に力を入れて取り組みたいものとして、文化行政の充実や子どもの貧困対策、学力向上などについての意見交換を行い、市長からは、市としての取組の方向性などについてのご意見をいただいた。



【第1回総合教育会議】



【第2回総合教育会議】

オ 委員研修等

◆事務局職員による委員研修

実施日	内 容	結 果
H28. 4. 22	本市部活動の現状について（学校健康課）	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導者ハンドブックや部活動に関する調査をもとに、本市の部活動を取り巻く現状について研修を行った。 ・部活動は教育活動の一環として生徒の学習意欲の向上や責任感、連帯感を育てる上で重要な役割を持っている一方、勤務時間外に行われていることや、教職員の約半数が経験のない種目の顧問になるなど、教職員の負担感への対策も課題となっていることを認識した。
H28. 10. 21	国の <u>コミュニティ・スクール</u> ^(※4) と本市 <u>魅力ある学校づくり地域協議会</u> ^(※5) について（学校教育課、生涯学習課）	<ul style="list-style-type: none"> ・国における「コミュニティ・スクール」制度の概要と、本市が実施している「魅力ある学校づくり地域協議会」との違いについて研修を行った。 ・国と本市の制度では、趣旨や活動目的は変わらないものの、具体的な機能や組織などで違いがあること、そして、今後本市への導入を検討する上では、本市の実態に即した制度とすることが重要であることを認識した。

(※3) 教育委員会基本方針

教育委員会が重点的に推進していく事業や取組の方向性を明らかにするため、毎年度策定しているもの。

(※4) コミュニティ・スクール

国が定める、保護者や地域住民が学校運営に参画する「学校運営協議会」を導入した学校のこと。主な機能として、学校運営の基本方針の承認や、学校の運営や教職員の任用に関する意見を述べるができる。

(※5) 魅力ある学校づくり地域協議会

各小中学校単位で設置している、学校やPTA、自治会などの地域の人たちで構成され、未来を拓く心豊かでたくましく宮っこを育むため、学校・家庭・地域・企業と一体となって「学校教育の充実」と「家庭や地域の教育力向上」に取り組む組織。

◆教育委員が出席した総会・研修会など

- ・ H28. 5. 17 河内宇都宮地区市町教育委員会連合会定例会・研修会
- ・ H28. 5. 23 栃木県市町村教育委員会連合会総会
- ・ H28. 5. 27 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会
- ・ H28. 10. 12 河内宇都宮地区市町教育委員会連合会定例会・研修会
- ・ H28. 11. 11 栃木県市町村教育委員会連合会総会・研修会
- ・ H28. 11. 21～22 市町村教育委員会研究協議会（第1ブロック）
- ・ H29. 1. 13 市町村教育委員研究協議会（文部科学省研修会）

◆教育委員が参加した研修にかかる報告会

教育委員及び局内各課で情報共有を図るため、研修等へ出席した教育委員が教育委員及び事務局職員へ内容や所感を報告する研修報告会を2回実施した。

【H28. 11 市町村教育委員会研究協議会】

- ・ 次期学習指導要領の目指す姿について

【H29. 1 市町村教育委員研究協議会（文科省研修会）】

- ・ 家庭・地域と連携した食育の推進，インクルーシブ教育システムの構築について

カ 教育委員による自主活動など

教育委員会会議や視察，意見交換会などのほかに，教育委員が個別に行った活動については以下のとおりである。

◆学校関係の活動

- ・ 市内学校への訪問（研究授業参観や校長・副校長との面談，給食会食等）
- ・ 土曜授業や運動会，体育祭，文化祭，引き渡し訓練など学校行事への参観
- ・ 市PTA連合会や魅力ある学校づくり地域協議会等の会議出席
- ・ 学校支援ボランティアへの参加 など

◆地域の活動

- ・ 地区の環境点検，交通安全の集いなどへの参加
- ・ 地区の式典，行事などへの参加
- ・ 登校時の立哨活動
- ・ 地域協議会コーディネーター研修会，放課後活動指導者研修会への参加 など

◆イベント・行事への参加

- ・ 市民大学開講式・講座，食育フェア，うつのみや人づくりフォーラム，中学校特別支援学級生徒写真展，市政記者クラブとの意見交換会，宇都宮市総合防災訓練，ジャパンカップクリテリウム，とちぎ県民カレッジ など
- ・ ユネスコ絵画展審査，栃木県少年の主張発表河宇地区大会審査

◆その他

- ・ 弁護士会と教育委員会との意見交換の開催

4 広報・広聴活動

(1) 広報活動

ア 「教育委員会だより 第17号」の発行（平成29年1月）

【配布先】

保育園～高等学校までの全ての学校，自治会回覧，各公共施設

【内容】

◆教育委員会 anniversary (アニバーサリー)

第30回宇都宮マラソン大会や開館20周年の宇都宮美術館など，節目を迎えた事業や施設の紹介

◆きらきらびと☆見つけた！

通学時の立哨指導や読み聞かせなど，様々な分野で学校教育への支援活動や地域活動に協力する支援者の紹介

◆教育委員会からのお知らせ

学校の耐震化や施設のリニューアル情報，食育の推進，教育委員会新体制の紹介など

◆平成28年度イベントの様子

百人一首市民大会やうつのみや人づくりフォーラムなど



イ メディアの有効活用

◆市ホームページへの教育委員通信「みんなで育てよう かがやく宮っこ」の掲載（随時）

・教育委員の活動報告（教育施設の視察，懇談会等）を発信した。

◆教育委員会ホームページ（トップページ）の作成【新規】

・宇都宮市ホームページ内に教育委員会専用トップページを作成し，階層をシンプル化するなど，見やすく分かりやすい工夫や，積極的に新着情報（教育委員会ニュース）の掲出を図るなどにより，充実したホームページの作成を図った。

・教育委員会トップページに，月替わりで学校（中学校1校，小学校2校）における活動の様子を撮影した写真を掲載し，市民の学校活動に対するより一層の理解を図った。

◆AR^(※6)機能を活用した広報活動の実施

・教育委員会だより等において，スマートフォンやタブレット端末により動画等を再生することができるAR機能を用いた情報提供を行った。

ウ パブリシティ^(※7)の有効活用

◆パブリシティ相談窓口の設置

・教育企画課と学校教育課にパブリシティ相談窓口を設置し，パブリシティを強化したい教育委員会事務局各課及び教育機関からの相談を受けて報道関係機関へ働きかけを行うなど，パブリシティの積極的活用を図った。

(※6) AR

Augmented Reality：拡張現実。「宇都宮市観光アプリ」ではカメラをかざした方向にある文化財などの情報が表示される。

(※7) パブリシティ

パブリシティとはPRの一種で，プレスリリースやインタビューへの応対などを通して，メディア取組内容などを取り上げてもらう活動のことをいう。

◆パブリシティ活動による情報提供件数

	平成27年度	平成28年度	前年比
年間	285件	318件	+11.2%
情報提供強化月間 (8月～11月)	94件	113件	+20.2%

【パブリシティ活動の活動指標（目標値）】

平成25年度 212件 ⇒ 平成30年度までに280件（約30%増）

※平成28年度において達成していることから、平成29年3月に広報プランを改訂し、活動指標を下記のように定めた。

平成25年度 212件 ⇒ 平成30年度までに365件
教育委員会1日1件パブリシティ運動

エ 効果的な情報発信の仕組みづくり

◆「知ってもらう運動」の推進の継続

局内課長補佐をメンバーとした「知ってもらう運動推進会議」を開催し、教育委員会全体として効果的なPR戦略をまとめ、実践した。

(2) 広聴活動

ア 教育委員会の活動

教職員との懇談会や本市PTA連合会などの教育関係団体との意見交換会などを通して、教育現場の意向を把握するとともに、教育委員会会議での報告案件や各種アンケートにより、教育現場の実態を把握した。

イ 教育行政相談

平成28年度に教育委員会が投書やメール等で受けた教育行政相談については下記のとおりであり、教育委員会会議で報告し、情報共有を図った。

課名	相談内容	件数
教育企画課	通学区域に関する事	1
学校管理課	就学に関する事 など	1
学校教育課	児童生徒指導に関する事	1
学校健康課	学校給食の栄養・衛生管理に関する事	3
	学校における安全確保、化学物質過敏症に関する対応について など	1
生涯学習課	生涯学習センターの利用に関する事	1
	地域教育に関する事	2
	家庭教育・地域人材に関する事	1
	図書館・視聴覚ライブラリーの事業や利用に関する事	9
文化課	妖精ミュージアムに関する事	2
	文化財保護に関する事 など	1
スポーツ振興課	スポーツ施設、サイクリングターミナルの整備及び管理運営に関する事	5
	市民スポーツの振興に関する事	5
	上河内、河内地域のスポーツ施設の管理運営に関する事 など	4

5 教育委員会活動にかかる教育委員の主な所感など

- ・教育委員会活動の開催回数は妥当であり、活動内容も多岐に渡っているなど充実した活動ができているほか、活動日についても、教育委員会定例会の日程と合わせて開催することで効率的な活動ができている。
- ・教育施設視察は実際に現場を見て意見交換等を行うことで、より理解が深まり有効な活動となり、教育現場の方々の実態や課題などを把握するには大変参考になった。
- ・今後も、様々な関連施設にさらに足を運ぶとともに、教育委員として特定の問題などに対して、地域や教育現場の声を聞く活動をすることが大切であると考えている。

6 教育委員会の活動状況の評価

教育委員会活動状況の評価については、教育委員会が合議制の執行機関であることを踏まえ、以下の観点から評価を実施する。

- ①教育長及び教育委員会事務局の事務執行にかかるチェック機能が働いているか。
- ②教育委員会会議において充実した議論を行うことができているか。
- ③市長と教育委員会が連携を図った教育行政が推進できているか。
- ④「市民に見える教育委員会」を推進するため、教育委員会の取組を市民に広く発信するなど、充実した広報活動が行われているか。

(1) 評価

- ①平成28年度から新教育長による新体制がスタートしたことに伴い、教育委員会会議の案件にかかる教育委員からの提案した議題の設定や、教育委員の課担当制^(※8)の試行的な導入など、新たな取組を行ったことにより、教育委員による教育長及び教育委員会事務局の事務執行にかかるチェック機能の強化を図ることができた。
- ②教育委員会主要事業の進行管理について、より充実した議論が行えるよう教育委員会会議の報告事項として実施したほか、教育委員の意見を伺いながら教育施設視察や教育懇談会などの教育委員会活動を実施したことにより、教育委員会会議において教育現場の実態や意向などを踏まえた活発な議論を行うことができた。
- ③総合教育会議を通して、文化行政の充実や子どもの貧困対策、学力向上などについての意見交換を行ったことにより、市長と教育委員会が教育にかかる諸課題に対しての共通認識を図りながら、より緊密な連携のもとに教育行政を推進することができた。
- ④市民からアクセスしやすいようなホームページに改善工夫を図ったほか、「教育委員会だより」の内容の充実や積極的なパブリシティ活動を行うなど、教育委員会の取組について広く市民に知ってもらうための広報活動を行うことができた。

(2) 課題と今後の方向性

- ①新教育長が教育行政に大きな権限と責任を有していることを踏まえると、今後も引き続き教育委員のチェック機能の強化に取り組んでいく必要があることから、教育委員が主体的に活動できるよう、教育委員による提案議題の設定などの取組の充実を図るとともに、教育委員の課担当制について、より機能をさせるための改善などに取り組んでいく。

(※8) 教育委員の課担当制

教育委員が効果的に教育長及び教育委員会事務局の事務執行にかかるチェック機能を果たすことを目的に、本市が試行的に行った取組。平成28年度は、本市の教育委員会事務局の全8課を2つのグループに分け、委員2名がそれぞれのグループに属した課にかかる主要事業の進行管理などを、特に注視してチェックなどを行ったもの。

- ②教育委員会会議の活性化を図るためには、教育現場の実態や意向を把握する活動や教育委員会事務局職員との意見交換などの実施により、教育委員の資質向上を図ることが重要であることから、教育委員会主要事業の進行管理にかかる取組の充実を図るとともに、教育委員の意向を踏まえながら、効率的・効果的な教育施設視察や教育懇談会、委員研修及び委員 de サロンなどの取組を実施していく。
- ③様々な社会環境の変化に対応した総合的・横断的な教育行政を推進するためには、市長と教育委員会がより緊密に連携を図ることが重要であることから、総合教育会議の場を活用し、本市教育のあるべき姿や課題、今後の方向性などについて充実した議論を行うとともに、議論された内容などを踏まえ、より一層の教育行政の充実に努めていく。
- ④「市民に見える教育委員会」の実現をより一層推進するためには、今後も継続して広報活動の充実に取り組んでいく必要があることから、市民にとって分かりやすい広報物の作成に努めるとともに、教育委員会だよりの発行や積極的なパブリシティ活動を行うなど、あらゆる機会を通して教育委員会の広報活動の充実に取り組んでいく。

～第4章 教育委員会施策全般の評価～

本市で実施している行政評価を活用しながら、第5次総合計画基本計画の体系に掲げた4つの基本施策を構成する15の施策ごとの評価を実施する。

【施策全体の評価】

- ・施策指標の達成度や市民意識調査結果の満足度などで評価される総合評価については、「順調」または「概ね順調」であり、計画的に施策事業の推進が図られている。
- ・各施策における課題等については、事業の継続的な実施や取組の充実などにより、施策目標・指標の達成に向けて取り組んでいく。

【基本施策・施策】

基本施策1 生涯にわたる学習活動を促進する

- 施策（1）学ぶ意欲の向上に向けた学習環境の醸成
- 施策（2）学校・家庭教育支援の充実
- 施策（3）学んだ成果を活かす仕組みの構築

基本施策2 信頼される学校教育を推進する

- 施策（1）学力向上の推進
- 施策（2）豊かな人間性と健やかなからだの育成
- 施策（3）地域と連携した独自性のある学校経営の推進
- 施策（4）教育環境の充実
- 施策（5）特別支援教育の充実
- 施策（6）高い指導力と情熱をもつ教職員の育成
- 施策（7）幼児教育の充実
- 施策（8）高校・高等教育の充実

基本施策3 個性的な市民文化・都市文化を創造する

- 施策（1）文化活動環境の充実
- 施策（2）文化資源の保存，継承，活用

基本施策4 生涯にわたるスポーツ活動を促進する

- 施策（1）スポーツ活動環境の充実
- 施策（2）スポーツを支える人材の育成，団体の活性化

基本施策 1 生涯にわたる学習活動を促進する

施策(1) 学ぶ意欲の向上に向けた学習環境の醸成

施策目標	一人ひとりが、自分にあった学びの機会や場を得て、いきいきと学んでいます。						
施策指標	①全生涯学習センターで開催される講座の延べ参加者数				平成 28 年度		評価
					目標値	24,487 人	
	実績値	20,167 人					
	現状値 (H23)	23,582 人	目標値 (H29)	24,670 人	達成度	82.4%	
	目標値の設定方法		これまでの実績を参考に設定				
	②図書館資料 ^(※9) の貸出冊数				目標値	4,875 千点	B
					実績値	3,849 千点	
	現状値 (H23)	4,075 千点	目標値 (H29)	5,070 千点	達成度	79.0%	
目標値の設定方法		これまでの実績を参考に設定					
総合評価	概ね順調						
評価・課題	<p>一人ひとりが、自分にあった学びの機会等を得て、いきいきと学べるよう、生涯学習センターや図書館を拠点とした学習機会の提供と充実に向けた取組を進めている。</p> <p>講座の延べ参加者数については、文化・教養的な講座から、地域の課題解決や社会的課題に対応する講座を重点化しているところであり、昨年度より多くの講座を開催してきたが、参加者数が微減している。(前年度：21,190 人)</p> <p>また、貸出冊数については、小中学生、高校生への継続的な読書活動の推進や児童コーナー、ヤングアダルトコーナーの充実、高齢者等を対象としたシニア世代応援講座や音読教室の開催、ロングライフコーナーの設置など、市民ニーズに応じた取組を行ってきたが、貸出冊数が微減している。(前年度：3,935 千点)</p> <p>課題として、生涯学習センターや図書館では多様な市民ニーズに対応するため様々な取組を行ってきたが、目標値の達成にはさらなる工夫が必要であり、講座の企画運営については、対象者に応じて実施日時や講座内容を工夫することで市民参加の促進を図るとともに、図書館については、情報提供力の強化やより多くの場で読書活動を啓発していくなど、図書館のさらなる利用促進を図ることが必要である。</p>						
今後の方向性	引き続き、市民一人ひとりが自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、多様な学習機会を提供するとともに、社会の要請に対応した学習機会の充実など、学びを通じた「人づくり」に繋がる事業を推進していく。						

(※9) 図書館資料

市内 5 図書館 (中央図書館、東図書館、南図書館、上河内図書館、河内図書館) のほか、各生涯学習センター等の資料。

施策（２）学校・家庭教育支援の充実

施策目標	学校や家庭などが連携し、地域をあげて子どもの育成に関わっています。					
施策指標	①放課後子ども教室 ^(※10) に係る延べ地域活動者数			平成 28 年度		評価
				目標値	31,888 人	
	現状値 (H23) 14,716 人 目標値 (H29) 37,438 人			実績値	23,739 人	B
				達成度	74.4%	
	目標値の設定方法		これまでの実績を参考に設定			A
	②魅力ある学校づくり地域協議会 ^(※11) による学校教育支援活動数			目標値	910 事業	
				現状値 (H23) 807 事業 目標値 (H29) 930 事業		
達成度	99.9%					
目標値の設定方法		これまでの実績を参考に設定				
総合評価	概ね順調					
評価・課題	<p>地域をあげた子どもの育成に向けて、放課後子ども教室や魅力ある学校づくり地域協議会の充実に向けた取組を進めている。</p> <p>放課後子ども教室については、平成 28 年度新たに 2 校を立ち上げ、52 校で実施しており、活動内容の充実へ向けて継続的に支援してきたことで、活動者数は概ね横ばいとなっている。(前年度：23,960 人)</p> <p>また、魅力ある学校づくり地域協議会による学校教育支援活動については、<u>地域コーディネーター</u>^(※12)の習熟度に応じた研修会・情報交換会の開催や個別訪問など、各地域協議会への支援を行うことで、学校教育支援活動数は増加している。(前年度：901 事業)</p> <p>課題として、放課後子ども教室については、未実施校区の実情に応じた、個別具体的な立ち上げに向けた支援が必要であるとともに、魅力ある学校づくり地域協議会については、「<u>コミュニティ・スクール</u>^(※13)」の導入を見据えながら、「地域とともにある学校づくり」を推進していく必要がある。</p>					
今後の方向性	<p>「子ども・子育て支援新制度」や「社会教育法」など、国の動向を踏まえた適切な対応を進めていくとともに、放課後における児童の健全育成や家庭教育支援の充実など、学校・家庭・地域等が連携・協働して子どもたちの心を豊かに育む取組みを推進する。</p>					

(※10) 放課後子ども教室

放課後等における全ての児童（参加希望の児童が対象）の健全育成を図るため、体験活動や異年齢交流活動、学習支援の場を提供することを通して、地域ぐるみで子どもを育む取組。

(※11) 魅力ある学校づくり地域協議会

各小中学校単位で設置している、学校やPTA、自治会などの地域の人たちで構成され、未来を拓く心豊かでたくましい宮っこを育むために、学校・家庭・地域・企業と一体となって、「学校教育の充実」と「家庭や地域の教育力向上」に取り組む組織。

(※12) 地域コーディネーター

学校と地域、地域内の人同士の橋渡しをする（つなぐ）役割や、学校支援ボランティアをしようとする人たちを増やしていく役割を持つ。

(※13) コミュニティ・スクール

国が定める、保護者や地域住民が学校運営に参画する「学校運営協議会」を導入した学校のこと。主な機能として、学校運営の基本方針の承認や、学校の運営や教職員の任用に関する意見を述べるができる。

施策（3）学んだ成果を活かす仕組みの構築

施策目標	より良い地域社会をつくるために、学びの成果を活動に活かしています。						
施策指標	①人材バンク ^(※14) の登録者数				平成28年度		評価
					目標値	684人	
	現状値(H23) 320人 目標値(H29) 728人				実績値	529人	B
					達成度	77.3%	
	目標値の設定方法		これまでの実績を参考に設定				
	②家庭教育サポーター ^(※15) 養成講座修了者数				目標値	110人	B
					実績値	90人	
現状値(H23) 38人 目標値(H29) 125人				達成度	81.8%		
				目標値の設定方法		これまでの実績を参考に設定	
総合評価	概ね順調						
評価・課題	<p>学びの成果を活動に活かせるよう、人材バンク制度の拡充や、家庭教育サポーターの養成などに取り組んでいる。</p> <p>人材バンクの登録者については、市内の各生涯学習センターによる地域への働きかけなど、市民への周知に積極的に取り組んできたことで登録者が増加している。(前年度：448人)</p> <p>また、家庭教育サポーター養成講座修了者数については、親学や家庭教育支援の輪を広げていく必要性を訴えながら、家庭教育支援の充実に向けて取り組んできたことにより、修了者数を伸ばしている(前年度：85人)。</p> <p>課題として、人材バンクについては、生涯学習センター職員等への実務研修等を実施するとともに、社会教育関係団体との連携強化などにより、さらなる効果的な活用を促進していく必要がある。家庭教育サポーターについては、養成講座やフォローアップ研修の開催など引き続き人材育成に取り組んでいくとともに、活動する機会の拡充や資質の向上を図っていく必要がある。</p>						
今後の方向性	多くの市民の参画による地域社会の活性化を図るため、各種講座等で学んだ人はもとより、自らの知識や経験を活かしたい市民を、地域活動や社会参画へとつなげる効果的な仕組みの充実に取り組んでいく。						

(※14) 人材バンク

各種生涯学習事業において講師として活躍できる人材の登録や、地域活動に興味を持っている地域住民と地域のイベントなどにおいて活動者を必要としている団体等の募集・登録とともにマッチングを図る取組。

(※15) 家庭教育サポーター

家庭の教育力向上を図るため、身近な地域において親同士の交流促進や孤立している親への支援を行うボランティア。

基本施策2 信頼される学校教育を推進する

施策(1) 学力向上の推進

施策目標		児童生徒が、確かな学力とともに、未来を切り拓く力を身につけています。					
施策指標	施策1 (国語)	①学習内容定着度調査 ^(※16) における正答率 80%以上の割合(中学校3年生の国語)		平成28年度		評価	
		目標値	74.0%	A			
		実績値	71.2%				
		現状値(H23)	70.2%	目標値(H29)	74.0%	達成度	96.2%
		②学習内容定着度調査における正答率 50%未満の割合(中学校3年生の国語)		目標値	3.0%	C	
		実績値		5.2%			
	現状値(H23)		4.3%	目標値(H29)	3.0%	達成度	57.7%
	施策2 (数学)	③学習内容定着度調査における正答率 80%以上の割合(中学校3年生の数学)		目標値	80.0%	A	
		実績値		81.5%			
		現状値(H23)	70.1%	目標値(H29)	80.0%	達成度	101.9%
		④学習内容定着度調査における正答率 50%未満の割合(中学校3年生の数学)		目標値	7.0%	B	
	実績値		8.0%				
現状値(H23)		13.1%	目標値(H29)	7.0%	達成度	87.5%	
施策3 (英語)	⑤学習内容定着度調査における正答率 80%以上の割合(中学校3年生の英語)		目標値	79.0%	A		
	実績値		76.6%				
	現状値(H23)	62.9%	目標値(H29)	79.0%	達成度	97.0%	
	⑥学習内容定着度調査における正答率 50%未満の割合(中学校3年生の英語)		目標値	6.0%	B		
実績値		6.8%					
現状値(H23)		12.7%	目標値(H29)	6.0%	達成度	88.0%	
目標値の設定方法①～⑥			これまでの実績を参考に設定				
総合評価	概ね順調						
評価・課題	<p>児童生徒に確かな学力と未来を切り拓く力を身につけさせることを目的に、市独自の学習内容定着度調査等の取組を進めている。</p> <p>学習内容定着度調査については、習熟度別学習や授業力向上プロジェクト^(※17)、小中一貫教育・地域学校園の実施等により、施策指標の半数は単年度の達成度で90%以上を達成し、他も昨年度と同水準で推移している。</p> <p>課題として、小中一貫教育・地域学校園の推進により、義務教育9年間を見通した系統性のある指導を行うとともに、児童生徒へのきめ細かな支援を継続的に行うことにより、基礎・基本の習得と思考力・判断力・表現力等の向上が必要である。特に、平成28年度全国学力・学習状況調査の本市小学校第6学年の結果は、国語A・算数Aが全国平均を下回っており、小学校における基礎・基本の確実な習得が必要である。また、若手教員の大幅な増加に伴い、分かる授業の基盤となる指導の工夫・改善を図る必要がある。さらには、小学校英語教科化、中学校英語の目標の高度化の動向を踏まえ、教員の英語指導力の向上や英語の授業に係る学校の指導体制を充実させる必要があるとともに、情報化の進展に伴い、児童生徒の情報活用能力や情報モラルの育成を図る必要がある。</p>						

(※16) 学習内容定着度調査

児童生徒がその学年で身につけるべき学習内容の定着状況を評価する調査。

(※17) 授業力向上プロジェクト

教員の授業力向上を目的として、授業改善のポイントを示した資料の作成、授業力向上のための実践研究を学校が発表する研究発表会の開催などを行う本市独自の事業。

今後の方向性	<p>児童生徒の学力向上を図るため、「授業力向上プロジェクト」等における、プロジェクトだよりの配付・活用や授業研究会を通じた指導・助言により、分かる授業の基盤となる指導法を改善するとともに、学校や地域学校園が主体的に学校運営等を進めながら義務教育9年間を通じた系統的な指導を行うよう指導・助言を充実させていく。</p> <p>また、校長のリーダーシップの下、各種学力調査のきめ細かな分析に基づく実効性の高い取組の共通理解、共通実践を推進するとともに、小中学校教員の英語指導力向上、小学校習熟度別学習の効果的实施、ICTの有効活用、家庭学習の習慣化に向けた取組を進め、基礎的・基本的な学習内容の習得と思考力・判断力・表現力等の向上に努める。</p> <p>さらには、小学校英語の教科化等に向けて、ALT配置等の環境整備を図るとともに、児童生徒の情報活用能力等の育成のため、タブレット型パソコンの計画的導入や教員研修等を実施していく。</p>
--------	---

施策（2）豊かな人間性と健やかなからだの育成

施策目標	児童生徒が、思いやりやたくましい心と体を持ち、規範意識をもって生活しています。						
施策指標	①いじめの解消率				平成 28 年度		評価
					目標値	100.0%	
	現状値 (H23) 96.9% 目標値 (H29) 100.0%				実績値	99.3%	A
					達成度	99.3%	
	目標値の設定方法		これまでの実績を参考に設定				
	②新体力テスト総合評価A段階の割合 (中学3年生)				目標値	22.3%	A
					実績値	24.0%	
	現状値 (H23) 22.0% 目標値 (H29) 22.3%				達成度	107.6%	A
					目標値の設定方法		
	③「児童生徒はきまりやマナーを守って生活している」と回答した保護者の割合				目標値	88.5%	A
実績値					88.4%		
現状値 (H23) 80.9% 目標値 (H29) 90.0%				達成度	99.9%	A	
				目標値の設定方法			これまでの実績を参考に設定
総合評価	概ね順調						
評価・課題	<p>市民の当該施策への取組が質・量ともに強く求められている中で、子どもの体力低下や食物アレルギーへの対応、いじめ問題などの取組を進めている。</p> <p>いじめについては、「いじめゼロ運動」の推進など、未然防止や早期発見・早期対応に努めたことにより、いじめの解消率は高水準で推移している。また、「<u>うつのみや元気っ子プロジェクト</u> ^(※18)」を策定し、小中9年間を見通した取組により、新体力テストにおける総合評価A段階の割合は高水準で推移している。さらに、各学校で心を育む教育活動を推進したことにより、児童生徒のきまりやマナーについて保護者の評価は高い水準を維持している。</p> <p>課題として、いじめ根絶のためには、児童生徒を主体とした取組などを推進するとともに、小・中学校の教職員が連携して組織力や対応力の強化を図り、それらの取組について保護者や地域への周知を積極的に図る必要がある。また、児童生徒の豊かな心をはぐくむためには、各学校の「<u>宮っ子心の教育</u> ^(※19)」において、小中9年間の系統的な教育や体験活動、認め励ます教育などを一層推進するとともに、学校行事等において、「たくましき」の涵養を図る取組を推進する必要がある。さらに、子どもの体力向上や健康の保持・増進のために、健康・体力、食育を推進する「<u>うつのみや元気っ子プロジェクト</u>」を一層推進することにより、児童生徒の自己の健康を主体的に管理できる能力や体力向上などによる「たくましき」を育成する必要がある。また、交通事故や不審者から自己の身を守るための行動ができる子どもを育成する必要がある。</p>						

(※18) うつのみや元気っ子プロジェクト

本市立児童生徒の体力向上と健康の保持増進を目指し、平成21年3月に策定した体力向上推進計画。

(※19) 宮っ子心の教育

小中学校が9年間で継続的かつ系統的に実施する本市独自の「心の教育」。

<p>今後の方向性</p>	<p>いじめ根絶に向け、教育委員会、学校、家庭、地域、関係機関等が連携し、未然防止や早期発見・早期対応に努めるなど、いじめ問題を組織的に克服することを目指すとともに、「心の教育プロジェクト^(※20)」を推進し、各学校が主体となって、家庭、地域と連携を図りながら、心豊かな児童生徒の育成を図る。また、体力の向上や食育の推進については、特に家庭との連携に重点を置いて取り組むとともに、健康教育の視点から、保健教育や安全教育を含めた4つの教育を有機的に連携させた取組を展開することで、児童生徒の健やかな体の育成を図る。</p>
---------------	---

(※20) 心の教育プロジェクト

小中一貫教育における「宮っ子心の教育」を推進するため、本市が取り組む施策。

施策（3）地域と連携した独自性のある学校経営の推進

施策目標	各学校が、家庭や地域、企業と連携・協力しながら、信頼され魅力のある学校づくりを進めています。						
施策指標	①「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」と回答した保護者・地域住民の割合				平成 28 年度		評価
					目標値	95.0%	
	現状値 (H23) 87.7% 目標値 (H29) 95.0%				実績値	94.4%	A
					達成度	99.4%	
	目標値の設定方法		これまでの実績を参考に設定				
	②「魅力ある学校づくり地域協議会」による学校教育支援活動数				目標値	910 事業	A
					実績値	909 事業	
	現状値 (H23) 807 事業 目標値 (H29) 930 事業				達成度	99.9%	
目標値の設定方法					これまでの実績を参考に設定		
総合評価	順調						
評価・課題	<p>各学校が、家庭や地域等と連携・協力しながら、信頼され魅力のある学校づくりを進めることを目的に、<u>学校マネジメントシステム</u>^(※21)による学校評価や魅力ある学校づくり地域協議会（以下「魅力協」という。）による学校教育支援活動などの取組を進めている。</p> <p>学校評価及び学校支援活動数については、平成 20 年度の魅力協の全校設置により、学校と家庭、地域等の連携の基盤が醸成され、学校、地域の実情に応じながら、地域とともにある学校づくりが推進されている。</p> <p>課題として、小中一貫教育・地域学校園を推進する中で、園内の各学校が情報交換を行い、小中学校の教員の相互理解などが促進されているが、学校や地域学校園の創意工夫した取組については差が見られることから、教職員の意識を高め、各地域学校園の共通実践を推進していく必要がある。また、魅力協については、地域とともにある学校づくりを推進するため、学校運営協議会の役割の見直しやその設置の努力義務が法に規定されたことを踏まえ、学校経営に保護者・地域住民の意見をより反映させるなど、学校運営参画機能の強化を図る取組を推進する必要がある。</p>						
今後の方向性	<p>小中一貫教育・地域学校園の推進にあたり、魅力協を通して、地域の教育力を活かした創意ある教育活動を充実させていく。また、家庭や地域等からの理解と協力を得ながら、特色ある学校運営や教育活動を行うため、各学校が地域に対し、これまで以上の積極的な情報発信や学校公開を推進するとともに、学校マネジメントシステムを有効に活用し、十分な説明や協議、意見反映等を行い、魅力協の学校運営への参画機能の強化を図る。そのため、魅力協の活動の手引きを改定し、校長会議や各種研修会において周知を図る。</p>						

〔※21〕 学校マネジメントシステム

各学校における学校経営改善のための P（計画）－D（実行）－C（評価）－A（改善）サイクルの確立及び学校評価と保護者や地域住民等への情報の発信・提供の充実を目的とした仕組み。

施策（4）教育環境の充実

施策目標	児童生徒が、安全で快適な教育環境の中で学校生活を送っています。						
施策指標	①耐震化率（学校校舎・体育館）				平成 28 年度		評価
					目標値	100.0%	
	実績値	100.0%					
	現状値 (H23)	73.2%	目標値 (H29)	100.0%	達成度	100.0%	
目標値の設定方法		国の指標に基づき設定				A	
総合評価	概ね順調						
評価・課題	<p>耐震性の低い校舎、体育館等について、事業の優先化を図り、国の補正予算なども最大限活用し、耐震補強工事や建替え工事を実施した。</p> <p>平成 28 年度末までに、構造体の耐震化率は 100%に達し、吊り天井及び照明・バスケットゴール等の非構造部材の耐震化については、落下防止対策を完了し、安全で快適な教育環境の整備に寄与した。（平成 28 年度に一条中学校移転改築及び富屋小学校体育館改築が完了し、耐震化率は 100%）</p> <p>熊本地震（平成 28 年）での被災状況を踏まえ、非構造部材の耐震化の推進や避難所としての機能の充実・強化がより一層求められていることから、窓ガラスの飛散防止対策や避難時の生活環境に配慮した施設整備に取り組んでいく必要がある。</p> <p>また、学校施設が一斉に更新時期を迎えつつある中、国では長寿命化計画の策定を要請しており、社会環境や学習形態の変化、財政状況を踏まえた計画的な対応が求められていることから、長寿命化による学校施設の長期利用を見据え、少人数指導などの学習形態の変化や学校施設を取り巻く環境の変化を踏まえた計画的な整備を行っていく必要があり、特にトイレ環境については、できるだけ早期の洋式化に向けて取り組んでいく必要がある。</p>						
今後の方向性	<p>学校施設の安全性確保や老朽化への対応、快適な学習環境の確保がますます求められていることから、窓ガラスなどの非構造部材の耐震化、経年による学校施設の損耗・機能低下に対する復旧措置及び快適な学習環境確保のための校舎大規模改造、老朽化が進む体育館の計画的な建替え、普通教室に設置した空調設備機器の適正な維持管理及びトイレの洋式化などのリフレッシュスクール事業等について、計画的に推進し、教育環境の充実を図っていく。</p>						

施策（5）特別支援教育の充実

施策目標	児童生徒一人ひとりが、ニーズに応じた適切な教育的支援を受けています。					
施策指標	①個別の支援計画を活用して、特別支援教育を実践している学校の割合			平成28年度		評価
				目標値	99.6%	
	実績値	98.9%				
	現状値 (H23)	96.8%	目標値 (H29)	100.0%	達成度	
目標値の設定方法		これまでの実績を踏まえて設定				
総合評価	概ね順調					
評価・課題	<p>特別支援教育に関する教職員研修や教育センター職員による学校訪問指導の実施等により、各小中学校において、個別の支援計画を活用し教職員の共通理解のもと、組織的な対応がなされている。</p> <p>今後とも、全校体制での特別支援教育の推進のために、特別支援学級、通級指導教室、通常の学級等の担当教員の特別支援教育に係る指導力の向上、早期からの一貫した支援のために、小中一貫教育・地域学校園の取組を軸として、幼稚園や保育所、高等学校や特別支援学校^(※22)等との連携を強化していく必要がある。</p> <p>また、<u>インクルーシブ教育システム</u>^(※23)の構築に向けて、多様な教育的ニーズに対応できるように、児童生徒の実態に応じた適切な<u>合理的配慮</u>^(※24)の提供に努めていく必要がある。</p> <p>さらに、保護者や市民への特別支援教育や発達障がいについての理解・啓発を行っていく必要がある。</p>					
今後の方向性	児童生徒の教育的ニーズに応じた支援が行えるように、要請のあった学校に対して学校生活適応支援アドバイザー等による学校訪問相談を実施し、学校組織の対応力の強化を図るとともに、特別支援教育の視点を取り入れた授業力向上のための研修の充実等により、教職員の指導力の更なる向上を図っていく。					

(※22) 特別支援学校

小学部、中学部及び高等部を置く特別支援学校のほか、平成28年4月に、県内初の高等特別支援学校として、栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園が開校。高等特別支援学校は、軽度の知的障がいがある生徒の職業的自立や社会参加を促す目的で設置された高等部単独の特別支援学校。

(※23) インクルーシブ教育システム

障がいのある児童生徒が、自己の能力を最大限に発達させ、社会参加できるよう、特別支援学級等の多様な学びの場を活用しつつ、障がいのない児童生徒とできる限り共に学ばす仕組み。

(※24) 合理的配慮

特別な支援が必要な児童生徒の「教育を受ける権利」を確保するために、市や学校が、体制面や財政面で過度の負担にならない範囲内で行う調整や変更のことであり、教員が行う教材等の工夫から、市が行う施設整備まで様々なことが考えられる。

施策（6）高い指導力と情熱をもつ教職員の育成

施策目標	教育への情熱があり、信頼される教職員が育成されています。					
施策指標	①教員マイスター制度 ^(※25) （受講者）と <u>うつのみや授業の達人</u> ^(※26) （表彰者）の対象人数			平成 28 年度		評価
				目標値	82 人	
	現状値 (H23) 32 人 目標値 (H29) 92 人			実績値	147 人	A
				達成度	179.3%	
	目標値の設定方法		これまでの実績を参考に設定			
	②「教職員は協力し、児童（生徒）の良いところを認め、教えるべきことをしっかりと熱心に指導している。」と回答した全対象者 ^(※27) の割合			目標値	96.0%	A
実績値				95.3%		
現状値 (H23) 90.3% 目標値 (H29) 97.0%			達成度	99.3%		
目標値の設定方法		これまでの実績を参考に設定				
総合評価	概ね順調					
評価・課題	<p>教育への情熱があり、信頼される教職員を育成することを目的に、教科等の指導的役割を担う中核教員の育成を図る「教員マイスター制度」を実施するとともに、授業実践において高い指導力や専門性を発揮している者に加えて、学校運営や地域連携等に貢献している教員を表彰する「宇都宮市教職員表彰」を平成 28 年度より新たに始めたことにより、実績値が目標値を大きく上回り、教職員の一層の資質能力と勤務意欲の向上が図られている。</p> <p>課題として、<u>教職員人材育成システム</u>^(※28)に基づき、専門性・指導力を身に付け、総合的な人間力を有する教職員を育成するため、今後とも、キャリア段階や喫緊の課題に応じた研修を実施する必要がある。また、教職員の大量退職・大量採用の時期にあることから、引き続き、教職員の服務規律の徹底と指導力向上を目指し、教育センター研修や校内研修を計画的・継続的に実施するとともに、中堅教員の組織マネジメント力の向上やチーム学校を推進するための管理職のリーダーシップ強化など、今後の教育に必要とされる対応力の向上を図る必要がある。</p>					
今後の方向性	<p>教職員人材育成システムに基づき、キャリア段階に対応した研修と資質や指導力向上のための専門研修の充実を図るとともに、新たに構築した教職員表彰制度を有効に活用しながら、中長期的な視点に立った研修と喫緊の課題に応じた研修を総合的に実施していく。特に、若手教員への段階的な指導力向上の研修や中堅教員への学校経営への参画を視野に入れた組織マネジメントの育成など、センター研修と校内 OJT を効果的に機能させながら、継続的に力量形成を図っていく。</p>					

(※25) 教員マイスター制度

ベテラン教員の知恵と技の伝承を通して、本市学校教育の教科等における指導的役割を担えるような中堅教員を育成し、教員の指導力の一層の向上を図る。リーダー（ベテラン教員）と所属校の違うメンバー（中堅職員）で構成するグループを単位にして、1年間継続的に OJT 方式の研修を行う。

(※26) うつのみや授業の達人（※平成 28 年度から「宇都宮市教職員表彰」に移行）

各教科等の特定分野の授業実践に優れ、教員の模範として推奨すべき教員を「うつのみや授業の達人」として顕彰するとともに、受賞者を研修会や授業公開などで活用するなどして、本市教員の授業力向上を図る。対象者には、教科指導員・マイスター制度のリーダー及びその経験者を除く。

(※27) 全対象者

うつのみや学校マネジメントシステムでの全体アンケートの対象者である全教職員、全児童生徒、全保護者、地域住民。

(※28) 教職員人材育成システム

本市学校教育の充実・発展に寄与する人材の育成が、より効果的・効率的に行われるよう、中長期的な視点から総合的に推進するため、経験年数等による各段階に応じた育成、管理・評価までを一貫した人材育成施策と捉えて体系化したもの。

施策（7）幼児教育の充実

施策目標	幼児が、人間形成の基礎となる適切な教育を受けています。						
施策指標	①幼稚園・保育園に入園していない児童 (3～5歳)の割合				平成28年度		評価
					目標値	3.4%	
	現状値(H23) 5.0% 目標値(H29) 2.8%				実績値	3.1%	A
					達成度	109.7%	
	目標値の設定方法		これまでの実績を参考に設定				
	②幼保小連携事業として「児童と園児の交流」 と「教職員間での情報交換、授業参観」の両 方を実施した市立小学校数				目標値	68校	A
					実績値	68校	
	現状値(H23) 58校 目標値(H29) 68校				達成度	100.0%	
目標値の設定方法					これまでの実績を参考に設定		
総合評価	概ね順調						
評価・課題	<p>幼児が人間形成の基礎となる適切な教育を受けることを目標に、「幼保小連携推進事業」や「幼稚園就園奨励費補助金」、「認定こども園の整備促進」等の継続的な取組を進めている。</p> <p>幼稚園への就園支援や保育施設の整備等により、幼児が人間形成の基礎となる適切な教育を受ける機会が確保されているほか、児童と園児の交流や教職員間での情報交換等により、就学前教育・保育と小学校教育の円滑な接続が図られている。一方で、社会状況の変化等により、市民の幼児教育・保育のニーズが多様化していることから、幼児教育の市民満足度は横ばいになっている。</p> <p>課題として、平成28年度に改訂された「幼稚園教育要領」等により、小学校教育への円滑な接続を図ることなどがますます求められており、<u>小1プロブレム</u>^(※29)解消に向けた、幼児期の教育と小学校教育のより一層の円滑な接続や、幼児期における発達段階に応じた教育活動の充実、教育・保育の量的な需要に対応した供給体制の確保を図るとともに、幼児教育の振興方策にかかる検討を進めていくことが必要である。</p>						
今後の方向性	<p>幼保小におけるより一層の連携や、保護者の経済的負担のさらなる軽減などにより、引き続き幼児期における教育活動の充実や幼児教育環境の充実を図っていくとともに、幼児教育の質をさらに向上させるため、課題の整理をしながら幼児教育のあり方について検討していく。</p>						

(※29) 小1プロブレム

授業を落ち着いて聞けない、集団行動がとれないなど、小学校入学直後の児童に見られる問題行動。

施策（8）高校、高等教育の充実

施策目標	市民が自己実現を図るために必要な、高度で専門的な学習機会や場が充実しています。						
施策指標	①市内8大学の公開講座数				平成28年度		評価
					目標値	87講座	
	現状値(H23) 73講座 目標値(H29) 90講座				実績値	60講座	C
					達成度	69.0%	
	目標値の設定方法		これまでの実績を参考に設定				
	②奨学金貸付基準を満たす希望者のうち貸与を受けることができたものの割合				目標値	100.0%	A
					実績値		
	現状値(H23) 100.0% 目標値(H29) 100.0%				達成度		100.0%
目標値の設定方法					これまでの実績を参考に設定		
総合評価	概ね順調						
評価・課題	<p>市民が自己実現を図るために必要な学習機会等を充実させることを目標に、公開講座の充実や奨学金貸付事業などの取組を進めている。</p> <p>公開講座については、市民の学習機会及び場の充実を図るため市内8大学において公開講座を実施しているが、市民ニーズの変化などに伴い講座数は減少する傾向にある。また、奨学金については、貸付事業の実施により、貸付を必要としている者に対する修学機会の確保が図られている。</p> <p>課題として、公開講座については、市民の生涯学習における高度で専門的な学習要求に応えるため、市が主催する市民大学をはじめとした各種講座も活用しながら、引き続き、市内の大学との連携による専門性の高い講座を提供していく必要がある。また、奨学金については、基準を満たした希望者全員に貸付を行うとともに、本市で活躍する人材確保、雇用状態や経済的理由により返還できない者を減らすための方策を検討するなど、事業の拡充を図っていく必要がある。</p>						
今後の方向性	<p>公開講座については、市内8大学等との連携を通し、市が主催する市民大学の講座内容の活用を図っていく。奨学金については、積極的なPRの実施や制度の適切な運用、さらには必要に応じた制度の見直しを行うことなどを通して、高度かつ専門的な学習機会や場の充実を図っていく。</p>						

基本施策3 個性的な市民文化・都市文化を創造する

施策(1) 文化活動環境の充実

施策目標	市民が、主体的に芸術文化活動を展開しています。						
施策指標	①市民芸術祭, ジュニア芸術祭の参加者数				平成 28 年度		評価
					目標値	140,000 人	
	実績値	137,532 人					
	現状値 (H23)	130,187 人	目標値 (H29)	140,000 人	達成度	98.2%	
	目標値の設定方法		これまでの実績を参考に設定				
	②文化会館自主事業参加者数				目標値	94,200 人	—
					実績値	41,932 人	
現状値 (H23)	85,635 人	目標値 (H29)	94,200 人	達成度	44.5%		
目標値の設定方法		これまでの実績を参考に設定					
総合評価	概ね順調						
評価・課題	<p>市民の主体的な文化芸術活動を支援するため、文化芸術に気軽に触れたり参加できる機会や、日頃の成果を発表したり質の高い文化芸術を鑑賞する機会の創出, 更には、将来の文化の担い手となる子どもたちを対象にした取組などを進めている。</p> <p>市民芸術祭・ジュニア芸術祭については、ともに参加者数が伸びて目標に近づいており、取り組みに対する認知度, 関心度が高まってきている。</p> <p>課題としては、市民が暮らしの中で文化鑑賞や活動に取り組み, より豊かで充実した生活を過ごせるよう, 気軽に学んだり鑑賞や活動ができる環境づくりを進めるとともに、宇都宮の誇るべき文化や様々な文化活動情報に、市民が自在に触れることができるよう、文化に関する情報発信を充実させる必要がある。</p> <p>また、次代の宇都宮を築き、新しい価値を創造しうる幅広い視野を持った人材を持続的に育成できるよう、文化を支え・担う人材の育成を推進するとともに、文化を先導する人材が、その力を活かし、新たな文化の創造や次世代の人材育成に携わることができる仕組みや環境づくりを行う必要がある。</p>						
今後の方向性	<p>「第2次宇都宮市文化振興基本計画（平成28年3月策定）」に基づき、「文化を身近に感じ活動できる環境づくりの推進」、「文化をつなぐ人材育成の推進」に向け、民間及び関係部署等と連携しながら、市民芸術祭やジュニア芸術祭の活性化を図るほか、うつのみや文化創造財団を核とした情報発信や市民活動支援の充実, 美術館・文化会館における教育普及事業や質の高い芸術文化の鑑賞機会の充実などにより、市民の主体的な芸術文化活動を一層促進する取り組みを推進する。</p>						

※指標②については、文化会館の大規模改修工事に伴う休館により、自主事業数が大幅に減少したため、今回は評価の対象としない。

施策（2）文化資源の保存、継承、活用

施策目標	市民が文化遺産・伝統文化などの文化資源を活用し、各々の地域に根ざした文化を守り、伝え、育んでいます。						
施策指標	①文化財保存団体数				平成 28 年度		評価
					目標値	52 団体	
	実績値	52 団体					
	現状値 (H23)	52 団体	目標値 (H29)	現状維持	達成度	100.0%	
	目標値の設定方法		これまでの実績を参考に設定				
	②文化財活用施設利用者数				目標値	127,285 人	A
					実績値	171,188 人	
	現状値 (H23)	119,147 人	目標値 (H29)	130,400 人	達成度	132.9%	
	目標値の設定方法		これまでの実績を参考に設定				
	③個性ある文化資源活用イベント入込客数				目標値	164,660 人	A
					実績値	173,768 人	
	現状値 (H23)	155,014 人	目標値 (H29)	169,600 人	達成度	104.0%	
目標値の設定方法		これまでの実績を参考に設定					
総合評価	概ね順調						
評価・課題	<p>市民が文化遺産・伝統文化などの文化資源を活用し、各々の地域に根ざした文化を保存、継承、活用することを目的に、伝統文化継承事業や文化財周知啓発事業、うつつのみや百人一首事業などの取組を進めている。</p> <p>文化財保存団体数については、地域の文化財を保存・継承するため、文化財保存団体との連絡を密にし、指定文化財等保存活動費補助金・修理費補助金を適切に交付するなど保存団体の活動を支援することで、保存団体数を維持している。</p> <p>文化財活用施設利用者数については、各文化財展示施設において、企画展や講演会を充実させ、イベントなどを実施することにより利用者数が伸びている。なお、利用者の増加は、一部スマートフォンゲームの影響もあったと推測される。</p> <p>個性ある文化資源活用イベント入込客数については、百人一首市民大会が過去最多の参加者を得るなど、各イベントを効果的に実施したことにより目標値を達成している。</p> <p>課題としては、市民が本市の魅力的な歴史文化を知り、郷土に誇りと愛着を感じることができるよう、本市に所在する指定・未指定の文化財を幅広く捉え、的確に把握し、総合的に保存活用する方針（歴史文化基本構想）を策定するとともに、本市の文化情報を、幅広い市民に効果的に伝達し、集客交流を促すことのできる情報交流拠点が必要である。また、伝統文化や文化財を保存・継承していけるよう、学校教育との連携を強化するなど次世代の後継者育成に係る事業を推進するとともに、史跡・建造物等の整備活用に係る効果的・効率的な手法を検討する必要がある。</p>						
今後の方向性	<p>「第2次宇都宮市文化振興基本計画（平成28年3月策定）」に基づき、「宇都宮文化の創造・継承の推進」、「文化の力を活かしたまちづくりの推進」に向け、民間及び関係部署等と連携しながら、文化財を適切に保存活用するための歴史文化基本構想の策定やその成果を踏まえた日本遺産認定に取り組むほか、伝統文化継承事業や本市ゆかりの百人一首等の個性ある文化資源の活用を推進するとともに、効果的な情報交流拠点機能の検討を進めるなど、市民の歴史文化への興味関心を高める取り組みを推進する。</p>						

基本施策4 生涯にわたるスポーツ活動を促進する

施策(1) スポーツ活動環境の充実

施策目標	市民が主体的に自分に合ったスポーツに取り組んでいます。						
施策指標	①20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ活動実施率				平成28年度		評価
					目標値	49.8%	
	実績値	43.2%					
	現状値(H24)	39.8%	目標値(H29)	50.0%	達成度	86.7%	
	目標値の設定方法		国、県の指標を参考に設定				
	②地域スポーツクラブがカバーする地域数				目標値	12地域	B
					実績値	10地域	
	現状値(H24)	-	目標値(H29)	12地域	達成度	83.3%	
	目標値の設定方法		これまでの実績を参考に設定				
	③スポーツ教室の参加人数				目標値	43,000人	A
					実績値	49,066人	
	現状値(H24)	40,919人	目標値(H29)	43,500人	達成度	114.1%	
目標値の設定方法		これまでの実績を参考に設定					
総合評価	概ね順調						
評価・課題	<p>市民の一人ひとりが自分に合ったスポーツを楽しむことができる環境の充実を図るため、地域スポーツクラブの支援や各種スポーツ大会の開催、スポーツ施設の整備などに取り組んでいる。</p> <p>施策指標における「20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ活動実施率」及び「地域スポーツクラブがカバーする地域数」については、目標値を下回っているものの、地域スポーツクラブの運営やクラブ間の連携を支援し、各クラブの活動の活性化を図ったことや、魅力あるマラソン大会の開催、ニーズに対応した施設整備等により、実績値はほぼ横ばいとなっている。</p> <p>また、「スポーツ教室の参加人数」については、市民ニーズに応じ教室の内容を変更・充実したこと等により、目標値を上回る成果が得られた。</p> <p>課題として、誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・関心、目的に応じて、いつでも、いつまでもスポーツに親しむことができるよう、地域スポーツクラブの新規立ち上げや会員増加、「ひとり1スポーツ」の普及啓発など、地域におけるスポーツ活動の更なる促進が必要である。</p> <p>また、社会環境の変化に伴い、スポーツに期待される役割等が拡大している中、プロスポーツやビッグスポーツイベントの効果的な活用によるスポーツの裾野拡大や機運の醸成を図るとともに、健康づくり事業等との連携強化も必要である。</p> <p>さらには、スポーツ施設の老朽化やニーズの多様化等に対応するとともに、本県での国体開催などもあることから、市内のスポーツ施設の適正配置や機能向上を図る必要がある。</p>						
今後の方向性	<p>「宇都宮市スポーツ推進計画」に基づき、「ひとり1スポーツ」の実現に向け、関係機関と連携した取り組みの実施などにより、ライフステージ等に応じたスポーツ活動を推進し、スポーツを体験したり、みたりする機会やスポーツ活動の成果を試す場の充実、スポーツ施設の効果的・効率的な整備・改修に取り組む。</p>						

施策（2）スポーツを支える人材の育成、団体の活性化

施策目標	市民のスポーツ活動が多く、指導者、スポーツ団体により支えられています。					
施策指標	①スポーツ指導者研修の受講者数			平成28年度		評価
				目標値	780人	
	実績値	688人				
	現状値 (H24)	700人	目標値 (H29)	800人	達成度	
	目標値の設定方法		これまでの実績を参考に設定			
総合評価	概ね順調					
評価・課題	<p>市民がスポーツ活動を継続して実施することができるよう、スポーツを支える人材の育成や団体の活性化を図るため、少年スポーツ指導者を養成するとともに、スポーツ推進委員会における研修やスポーツ少年団のジュニアリーダー研修会の実施等によるスポーツ指導者の資質向上、スポーツ団体やプロスポーツチームの支援、様々な機会をとらえた情報提供などに取り組んでいる。</p> <p>施策指標における「スポーツ指導者研修の受講者数」は、研修の受講機会が限られていることや受講者が固定化していることなどから、目標値を下回っているが、市体育協会において新たに講習会を開催したことにより、前年に比べ受講者数の増加がみられた。</p> <p>課題として、多様化する市民のスポーツ活動を支えていくためには、多くの少年スポーツ指導員を養成するとともに、研修の充実など、指導者の資質向上への効果的な取り組みや中長期的な視点からの指導者育成が必要である。</p> <p>また、本県での国体開催の機会をとらえ、関係機関等との連携のもと、人材の育成・活用方策の検討に取り組む必要がある。</p> <p>さらには、スポーツの裾野拡大や地域の活性化に寄与することが期待できる地域に密着したプロスポーツチームに対し、効果的に支援を行う必要がある。</p>					
今後の方向性	<p>「宇都宮市スポーツ推進計画」に基づき、「ひとり1スポーツ」の実現に向け、市スポーツ推進委員や市体育協会をはじめとする関係機関・団体と連携・協力しながら、研修や各種事業の充実に努め、多様化する市民ニーズに対応できる指導者の育成や団体の活性化を図るとともに、地域に根ざしたスポーツ関係団体やプロスポーツに対する支援に取り組む。</p>					

～第5章 評価委員による所見～

1 教育委員会評価委員会議

【日 程】平成29年7月11日（火）

【結 果】

- ・事務局から本年度の自己評価について説明したのち、「平成28年度評価委員の所見への対応状況」、「教育委員会の活動状況」、「教育委員会の施策全般」についてご意見をいただいた。
- ・各評価委員からの所見については下記のとおり。



2 評価委員による所見

◆ 渡邊 弘 委員

(1)	<p>総合評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的には、評価の趣旨を踏まえながら、適切に点検・評価が実施されていると判断できる。 ・具体的な点検・評価の方法についても、PDCAサイクルが機能しているほか、平成28年度評価委員の所見への対応も誠実に行われており、特に問題はないと判断する。 ・また、教育委員会による事務局の管理監督が十分実施されており、報告書の作成についても、図表や写真などの掲示により見やすくまとめられており適切に行われていると判断する。
(2)	<p>教育委員会の活動状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員の活動状況の見える化を図りながら、適切に自己評価を行っている。 ・審議事項が増加しているにもかかわらず、効率よく充実した会議等の運営に努めている点が評価できる。 ・教育施設視察の回数等については問題ないが、今後、教育委員の主な感想意見等が報告書の中で見るとよい。 ・「市民に見える教育委員会」を推進するために、今後もホームページやAR、バブリシティ活動などのメディアを有効に活用しながら、より一層の広報活動に取り組んでいただきたい。 ・「教育委員の課担当制」の試行的な取組については、今後の期待も含めて評価できる。今後も教育委員の役割の明確化とより一層のチェック機能の強化を図ってほしい。
(3)	<p>教育委員会施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施策等については、高い目標を立てているが、全体的に「順調」または「概ね順調」であり、各施策では、「施策目標」「施策指標」「評価・課題」「今後の方向性」の各項目において具体的かつ適切に記載され、計画的に施策事業の推進が図られていると判断できる。 ・今後は、各施策において具体的な諸課題を解決しながら、目標の達成度100%を目指して努力していただきたい。
(4)	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市独自で継続して実施している百人一首市民大会やうつのみや人づくりフォーラムなどは、今後も市民の意見や要望を聞きながら継続してほしい。

◆ 伊藤 三千代 委員

(1)	総合評価
<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に良くまとめられており，分かりやすい報告書になっている。 ・教育委員の意見等を吸い上げるために，教育委員会会議での自由討議や事務局職員との意見交換を実施するなど，教育委員が発言できる機会を設けることがとても重要である。 	
(2)	教育委員会の活動状況について
<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議や視察等の実施については，様々な工夫がなされており，回数・内容等は妥当であると考え。今後も教育委員の意向等を踏まえながら，柔軟に対応していただきたい。 ・新規事業の実施状況等にかかる教育施設視察等については，1回の視察で終わらず，再度視察を行い，どのように良くなってきているか，教職員がいかに取り組んできたかなどについても，可能な限り実施することが望ましい。 ・「教育委員の課担当制」の導入は，教育委員の活動の専門性を高めることや，負担軽減の面からよい取組であると考え。 ・教育委員会の情報発信については，様々な努力がされている様子が伺えるので，今後も引き続き効果的な広報活動に努めていただきたい。 	
(3)	教育委員会施策について
<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会施策については概ね順調であり，教育委員会の努力に感謝するとともに，来年度は少しでも目標値に近づけるように期待する。 	
(4)	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・健康な体が健康な心を育てるとも言うので，小・中学校とも体力測定などを利用した健康な体づくりを施策としたものがあってもよいと考える。 ・情熱のある教職員の育成は素晴らしいと思うが，教育に悩み・困っている教職員も少なからずいらっしゃると思うので，そういった教職員への速やかなフォローもできるようになると，さらによいと考える。 	

～ おわりに ～

社会情勢の変化や教育ニーズの多様化などにより、教育をめぐる様々な課題が顕在化している中、その中核を担う教育委員会においては、これまで以上に学校や家庭、地域、企業などと一体となった取組が求められております。

本市教育委員会においては、「共に歩む教育委員会、先を見る教育委員会」をモットーに、教育現場の実態を踏まえながら、学校と共に、家庭と共に、また地域と共に、10年先、20年先を見据えた教育行政を推進しております。

また、本市では、平成17年度に策定した、本市における人づくりの指針である「宮っこ未来ビジョン」の基本理念及び基本目標を、平成27年度に宇都宮市教育大綱として位置付けたところであり、心豊かでたくましく生きることができる人づくりの実現という目標に向かい、学校教育の充実はもとより、家庭や地域の教育力の向上などの様々な取組を展開しております。

今後さらに「人づくり」を推進していくためには、小中一貫教育・地域学校園など、全国に先駆けた本市独自の教育システムを有機的に結び付け、総合的に質の高い教育を実現させるとともに、総合教育会議など、教育委員会制度改革により構築された市長との連携体制の仕組みを十分に活用し、これまで以上に市長と緊密に連携を図ることにより、総合的・横断的な教育行政を展開していく必要があると考えております。

教育委員会の点検・評価につきましては、議会への報告や市民への公表を行うことにより、本市教育委員会の取組について多くの市民の皆さまに知っていただくとともに、本市教育行政への御理解、御協力をいただく機会となることを期待しております。

今後とも、この点検・評価の結果を踏まえ、本市の教育を担う責務を十分に認識しながら、常に教育行政の根本に立ち返り、社会情勢や新たな教育ニーズに応じた効果的な施策の展開に努め、新しい宇都宮の未来を切り拓く「人づくり」を推進してまいります。

平成28年度 教育委員会付議案件等一覧

◆平成28年第7回教育委員会【臨時会】(平成28年4月1日)

種別	議案番号	件名
審議	議案第13号	平成28年度教育委員会基本方針について

◆平成28年第8回教育委員会【定例会】(平成28年4月22日)

種別	議案番号	件名
審議	議案第14号	平成28年度教育委員会の活動について
	議案第15号	宇都宮市文化財保護審議委員会への諮問について
	議案第16号	宇都宮市スポーツ推進審議会委員の解職及び委嘱について
報告	報告第18号	平成28年度教育委員会主要事業について
	報告第19号	教育行政相談の内容と対応について
	報告第20号	教育長の権限に属する事務の委任及び事務決裁規程の一部改正
	報告第21号	平成27年度宇都宮市入学一時金貸付者の選考結果について
	報告第22号	平成28年度宇都宮市返還免除型育英修学資金貸付者の二次選考結果について
	報告第23号	平成27年度広報プラン情報提供件数及び平成28年度の主な活動内容について
	報告第24号	「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく特定事業主行動計画の策定について
	報告第25号	平成27年度児童虐待相談受付等の状況について
	報告第26号	学校給食の体験型理解促進事業の新たな取組について
	報告第27号	平成29年宇都宮市成人式について
	報告第28号	「宇都宮市歴史文化基本構想」の策定について
その他	(1)	平成27年度第3回 社会教育委員の会議の結果について
	(2)	「図書館カレンダー・しおり」広告掲載者の決定について
	(3)	平成28年度市民芸術祭イベントスケジュール
	(4)	宇都宮市文化会館2016プログラム
	(5)	宇都宮美術館平成28年度展覧会スケジュール
	(6)	とびやま歴史体験館平成28年度スケジュール
	(7)	平成28年度宇都宮市スポーツ振興財団の自主事業について
	(8)	平成27年度 第1回スポーツ推進審議会の結果について

◆平成28年第9回教育委員会【定例会】(平成28年5月30日)

種別	議案番号	件名
審議	議案第17号	教育委員会に係る議会の議決を経るべき事件の意見の提出について
	議案第18号	平成29年度使用教科用図書採択に係る事務等について
	議案第19号	宇都宮市社会教育委員の解職及び委嘱について
	議案第20号	宇都宮市生涯学習センター運営審議会委員の解職及び委嘱について
	議案第21号	宇都宮市教育支援委員会委員の解職及び委嘱について
報告	報告第29号	平成29年度指定管理者更新について
	報告第30号	教育行政相談の内容と対応について

報告	報告第31号	学校等事件・事故について
	報告第32号	平成27年度学校給食費滞納対策の結果について
	報告第33号	学校給食の食材（タケノコ）から放射性物質が検出されたことに伴う対応について
	報告第34号	平成29年宇都宮市成人式会場の一部変更について
その他	(1)	文化会館受託事業「シティふれあいコンサート」について
	(2)	宇都宮市小学校特別支援学級合同運動会の開催について

◆平成28年第10回教育委員会【定例会】（平成28年6月24日）

種別	議案番号	件名
審議	議案第22号	平成29年度宇都宮市教育委員会組織・定員の方針について
	議案第23号	宇都宮市通学区域審議会委員の委嘱について
	議案第24号	宇都宮市視聴覚ライブラリー運営委員会委員の解職及び委嘱について
報告	報告第35号	教育行政相談の内容と対応について
その他	(1)	「宇都宮市民芸術祭美術展」について
	(2)	清明館企画展「うつのみや戦災展」について

◆平成28年第11回教育委員会【臨時会】（平成28年6月30日）

種別	議案番号	件名
審議	議案第25号	清原中央小学校の分離新設について
	議案第26号	宇都宮市通学区域審議会への諮問について
	議案第27号	宇都宮市生涯学習センター条例施行規則の一部改正

◆平成28年第12回教育委員会【定例会】（平成28年7月25日）

種別	議案番号	件名
協議	協議第2号	テクノポリスセンター地区新設小学校整備基本計画（素案）について
報告	報告第36号	平成28年6月議会一般質問の概要について
	報告第37号	教育行政相談の内容と対応について
	報告第38号	学校等事件・事故について
その他	(1)	平成28年度第1回通学区域審議会の結果について
	(2)	平成28年度第1回生涯学習センター運営審議会の結果について
	(3)	冊子「大谷の存在、その断片」について
	(4)	妖精ミュージアム企画展（妖精が潜む版画展）について
	(5)	文化会館自主事業「市民センター出前寄席」について
	(6)	美術館企画展「第11回・宇都宮エスペール賞クワクポリョウタ展」について
	(7)	美術館コレクション展特集展示「辰野登恵子展」について

◆平成28年第13回教育委員会【臨時会】（平成28年7月27日）

種別	議案番号	件名
審議	議案第28号	平成29年度使用宇都宮市立小・中学校教科用図書採択について

◆平成28年第14回教育委員会【定例会】(平成28年8月19日)

種別	議案番号	件名
審議	議案第29号	教育委員会に係る議会の議決を経るべき事件の意見の提出について
	議案第30号	教育委員会評価について
報告	報告第39号	平成28年度宇都宮ジュニア未来議会の概要について
	報告第40号	教育行政相談の内容と対応について
	報告第41号	育英事業における収納対策について
	報告第42号	宇都宮市教育委員会の標準的な職を定める規程の制定
	報告第43号	宇都宮市教育委員会の職員の標準職務遂行能力を定める規程の制定
	報告第44号	宇都宮市教育委員会の職員の人事評価の実施に関する規程の制定
	報告第45号	平成27年度いじめ、暴力行為、長期欠席(不登校)等の状況について
その他	(1)	平成28年度第1回社会教育委員の会議の結果について
	(2)	平成28年度宇都宮市民大学(前期講座)の実施状況について

◆平成28年第15回教育委員会【定例会】(平成28年9月23日)

種別	議案番号	件名
審議	議案第31号	宇都宮市学校教育問題対策専門委員会委員の委嘱について
	議案第32号	宇都宮市文化財保護審議委員会委員の委嘱について
報告	報告第46号	平成28年9月議会一般質問の概要について
	報告第47号	教育行政相談の内容と対応について
	報告第48号	隣接校との通学区域弾力化等による平成29年度入学者の募集について
	報告第49号	平成28年度教育委員会主要事業の進行管理について
	報告第50号	教職員の負担軽減策の取組状況について
	報告第51号	教育支援者感謝状受賞者の決定について
	報告第52号	平成28年度「とちぎっ子学習状況調査」の結果概要について
	報告第53号	学校等事件・事故について
その他	(1)	「第11回うつのみや食育フェア」の開催について
	(2)	宇都宮市視聴覚ライブラリー運営委員会の結果について
	(3)	うつのみや親学と子どもの情報誌「こどもるっくる」第11号について
	(4)	市民大学後期講座について
	(5)	美術館企画展「スター・ウォーズ展」について
	(6)	第2回うつのみや百人一首市民大会について
	(7)	蓮生記念 第3回 全国競技かるた宇都宮大会について
	(8)	「かがやく わたしの 写真展」の開催について

◆平成28年第16回教育委員会【定例会】(平成28年10月21日)

種別	議案番号	件名
審議	議案第33号	平成29年度教育委員会当初予算編成方針について
	議案第34号	指定管理候補者の選定について
	議案第35号	テクノポリスセンター地区における新設小学校の通学区域について

審議	議案第36号	テクノポリスセンター地区新設小学校整備基本計画について
	議案第37号	平成29年度宇都宮市立小・中学校教職員定期異動に係る基本的な考え方について
報告	報告第54号	教育行政相談の内容と対応について
	報告第55号	平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について
その他	(1)	第2回通学区域審議会の結果について
	(2)	人材かがやきセンター主催講座(前期)の実施状況について
	(3)	「第5回南としょかん祭」の開催について
	(4)	第210号 館報「としょかん」について
	(5)	平成28年度第2回生涯学習センター運営審議会の結果について
	(6)	「ミヤ・ジャズイン2016」の開催について
	(7)	「伝統文化フェスティバル」の開催について
	(8)	「百人一首ゆかりのまち宇都宮ウォークラリー」の開催について
	(9)	平成28年度生涯スポーツ優良団体表彰(文部科学省)及び栃木県教育委員会教育功労者表彰について
	(10)	第39回 宇都宮市小学校特別支援学級合同収穫祭の開催について
	(11)	第40回 小学校特別支援学級合同学習発表会の開催について

◆平成28年第17回教育委員会【臨時会】(平成28年10月31日)

種別	議案番号	件名
審議	議案第38号	教育委員会に係る議会の議決を経るべき事件の意見の提出について

◆平成28年第18回教育委員会【臨時会】(平成28年11月11日)

種別	議案番号	件名
審議	議案第39号	教職員人事の内申について

◆平成28年第19回教育委員会【定例会】(平成28年11月25日)

種別	議案番号	件名
審議	議案第40号	宇都宮市生涯学習センター条例施行規則の一部改正について
	議案第41号	市指定文化財の指定について
報告	報告第56号	平成29年度教育委員会当初予算要求概要について
	報告第57号	教育行政相談の内容と対応について
	報告第58号	「ノースマホデー」の取組結果について
	報告第59号	大人のモラル向上啓発物「コドモのメセン」の発行について
	報告第60号	「伝統文化フェスティバル」の開催結果について
	報告第61号	歴史文化基本構想の策定に係る市民ワークショップについて
その他	(1)	第9回うつのみや人づくりフォーラムの開催について
	(2)	第22回 うつのみや百人一首市民大会の開催結果について
	(3)	第3回 蓮生記念全国競技かるた宇都宮大会の開催結果について
	(4)	適応指導教室交流学習会「つどいの街TENJIN 16」の開催について
	(5)	教育センター土曜公開講座「教育なう」の開催について

◆平成28年第20回教育委員会【臨時会】（平成28年11月29日）

種別	議案番号	件名
審議	議案第42号	教育委員会に係る議会の議決を経るべき事件の意見の提出について

◆平成28年第21回教育委員会【定例会】（平成28年12月20日）

種別	議案番号	件名
審議	議案第43号	宇都宮市生涯学習センター条例施行規則等の一部改正
協議	協議第3号	「第2次宇都宮市スポーツ施設整備計画」（素案）について
報告	報告第62号	教育行政相談の内容と対応について
	報告第63号	学校等事件・事故について
その他	(1)	「第9回うつのみや人づくりフォーラム」の開催結果について
	(2)	第5回「南としょかん祭」の開催結果について
	(3)	「百人一首ゆかりのまち宇都宮ウォークラリー」の開催結果について
	(4)	第30回 宇都宮マラソン大会の結果について
	(5)	第54回 宇都宮市民スポーツ大会の結果について

◆平成29年第1回教育委員会【定例会】（平成29年1月27日）

種別	議案番号	件名
審議	議案第1号	宇都宮市就学援助費交付規則の一部改正
報告	報告第1号	平成28年12月議会一般質問の概要について
	報告第2号	教育行政相談の内容と対応について
	報告第3号	平成28年度小・中学校卒業式あいさつ文について
	報告第4号	平成28年度全国学校給食週間の取組について
その他	(1)	平成29年宇都宮市成人式の実施結果について
	(2)	平成28年度第2回社会教育委員の会議の結果について
	(3)	平成28年度宇都宮市民大学（後期講座）の実施状況について
	(4)	上河内民俗資料館雛人形展について
	(5)	平成28年度第1回宇都宮市スポーツ推進審議会の結果について
	(6)	教育委員会だより第17号について

◆平成29年第2回教育委員会【定例会】（平成29年2月16日）

種別	議案番号	件名
審議	議案第2号	教育委員会に係る議会の議決を経るべき事件の意見の提出について
	議案第3号	平成29年度教育委員会の組織について
	議案第4号	河内採択地区教科用図書採択協議会規約の一部改正
	議案第5号	「第2次宇都宮市スポーツ施設整備計画」（案）について
報告	報告第5号	教育行政相談の内容と対応について
	報告第6号	平成28年度教育委員会主要事業の進行管理について
	報告第7号	「(仮称)第2次宇都宮市学校教育推進計画」の策定について
	報告第8号	宮っ子表彰及び義務教育皆勤賞表彰について

報告	報告第9号	平成28年度「宮っ子心の教育表彰」教育委員会賞について
	報告第10号	「うつのみや学校マネジメントシステム」全体アンケートの平成28年度結果概要について
	報告第11号	平成28年度本市児童生徒の体力について
	報告第12号	宇都宮市文化会館大規模改修工事について
その他	(1)	隣接校との通学区域弾力化等による平成29年度入学者の募集結果について
	(2)	宇都宮市立図書館「リサイクル市」の実施結果について
	(3)	南図書館開館5周年記念事業「あらしのよるに」の開催について
	(4)	南図書館 文学座俳優とピアノ演奏による朗読劇「人間椅子・雪おんな」の開催について
	(5)	第58回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会の結果について

◆平成29年第3回教育委員会【臨時会】(平成29年3月8日)

種別	議案番号	件名
審議	議案第6号	職員の人事について
	議案第7号	教職員の人事の内申について

◆平成29年第4回教育委員会【定例会】(平成29年3月21日)

種別	議案番号	件名
審議	議案第8号	宇都宮市教育委員会公印規則の一部改正
	議案第9号	宇都宮市教育委員会の組織及び運営に関する規則の一部改正
	議案第10号	教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部改正
	議案第11号	「宇都宮市教育委員会人材育成基本方針」について
	議案第12号	職員の人事について
	議案第13号	宇都宮市生涯学習センター条例施行規則の一部改正
協議	協議第1号	平成29年度教育委員会基本方針(案)について
報告	報告第13号	平成29年3月議会一般質問の概要について
	報告第14号	教育行政相談の内容と対応について
	報告第15号	平成28年度宇都宮市「学習内容定着度調査」及び「学習と生活についてのアンケート」の結果概要について
	報告第16号	平成30年宇都宮市成人式について
その他	(1)	平成28年度における全国規模組織等による被表彰校について
	(2)	CSR学校応援ハンドブックの改訂について
	(3)	機動班業務一部委託化について
	(4)	平成28年度宇都宮市学校教育問題対策専門委員会の結果について
	(5)	平成28年度第3回生涯学習センター運営審議会の結果について
	(6)	宇都宮市視聴覚ライブラリー運営委員会の結果について
	(7)	子どもの家等保護者負担金の一部助成について

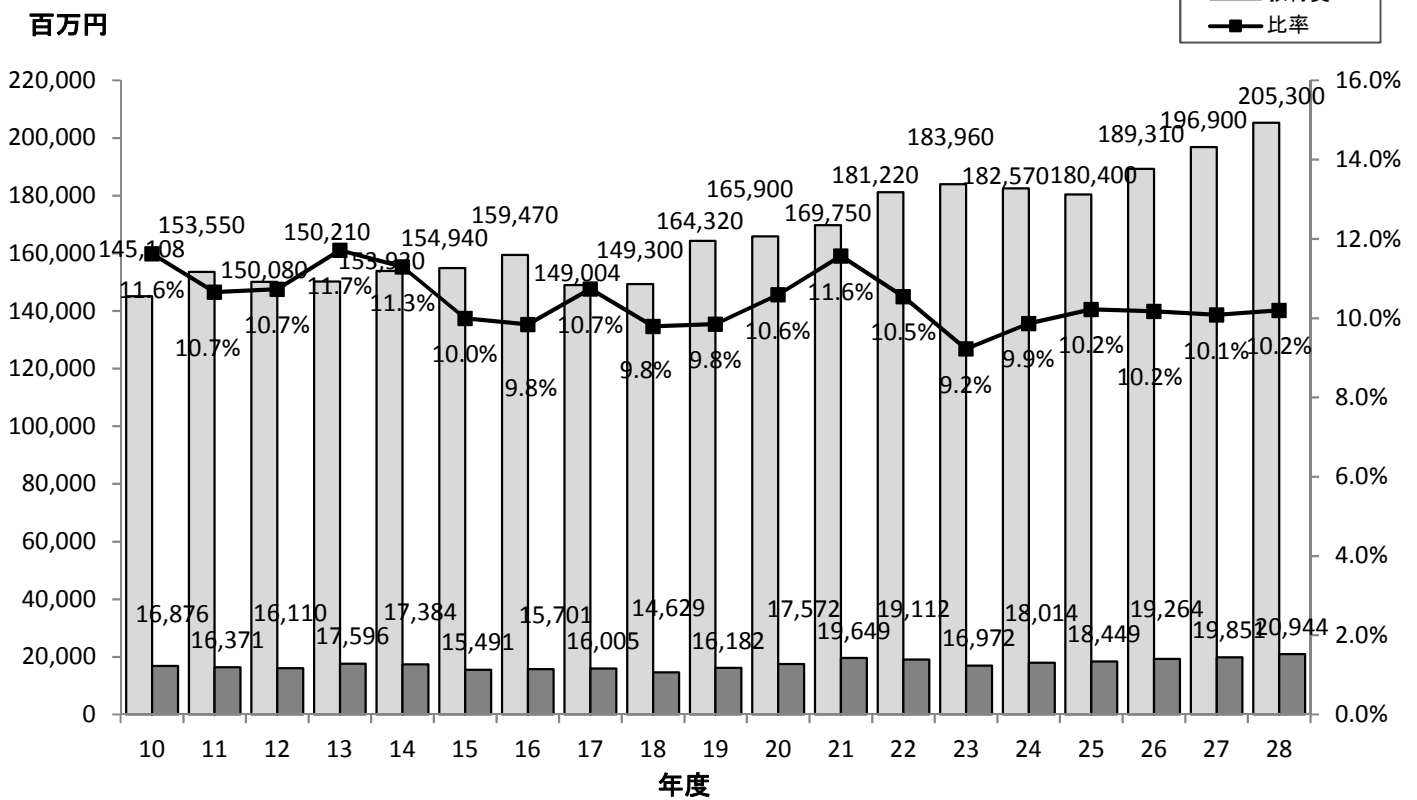
【教育委員会実施策ごとの施策指標評価一覧（平成28年度）】

施策名	施策指標	目標	実績	達成度	評価(※1)	総合評価(※2)	
1 生涯にわたる学習活動を促進する	(1) 学ぶ意欲の向上に向けた学習環境の醸成	① 全生涯学習センターで開催される講座の延べ参加者数	24,487人	20,167人	82.4%	B	概ね順調
		② 図書館資料の貸出冊数	4,875千点	3,849千点	79.0%	B	
	(2) 学校・家庭教育支援の充実	① 放課後子ども教室に係る延べ地域活動者数	31,888人	23,739人	74.4%	B	概ね順調
		② 魅力ある学校づくり地域協議会による学校教育支援活動数	910事業	909事業	99.9%	A	
	(3) 学んだ成果を活かす仕組みの構築	① 人材バンクの登録者数	684人	529人	77.3%	B	概ね順調
		② 家庭教育サポーター養成講座修了者数	110人	90人	81.8%	B	
	2 信頼される学校教育を推進する						
	(1) 学力向上の推進	① 学習内容定着度調査における正答率 80%以上（中学校3年生の国語）	74.0%	71.2%	96.2%	A	概ね順調
		② 学習内容定着度調査における正答率 50%未満（中学校3年生の国語）	3.0%	5.2%	57.7%	C	
		③ 学習内容定着度調査における正答率 80%以上（中学校3年生の数学）	80.0%	81.5%	101.9%	A	
④ 学習内容定着度調査における正答率 50%未満（中学校3年生の数学）		7.0%	8.0%	87.5%	B		
⑤ 学習内容定着度調査における正答率 80%以上（中学校3年生の英語）		79.0%	76.6%	97.0%	A		
⑥ 学習内容定着度調査における正答率 50%未満（中学校3年生の英語）		6.0%	6.8%	88.0%	B		
⑦ いじめの解消率		100.0%	99.3%	99.3%	A		
⑧ 新体力テスト総合評価A段階の割合（中学3年生）		22.3%	24.0%	107.6%	A		
⑨ 「児童生徒はきまみやマナーを守って生活している」と回答した保護者の割合		88.5%	88.4%	99.9%	A		
(2) 豊かな人間性と健やかなからの育成		① 「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」と回答した保護者・地域住民の割合	95.0%	94.4%	99.4%	A	
	② 「魅力ある学校づくり地域協議会」による学校教育支援活動数	910事業	909事業	99.9%	A		
(3) 地域と連携した独自性のある学校経営の推進	① 耐震化率（学校校舎・体育館）	100.0%	100.0%	100.0%	A	概ね順調	
	① 個別の支援計画を活用して、特別支援教育を実践している学校の割合	99.6%	98.9%	99.3%	A		
(4) 教育環境の充実	① 教員マイスター制度（受講者）とうつのみや授業の達人（表彰者）の対象人数	82人	147人	179.3%	A	概ね順調	
	② 「教職員は協力し、児童（生徒）のよいところを認め、教えるべきことをしっかりと熱心に指導している。」と回答した全対象者の割合	96.0%	95.3%	99.3%	A		
(5) 特別支援教育の充実	① 幼稚園・保育園に入園していない児童（3～5歳）の割合	3.4%	3.1%	109.7%	A	概ね順調	
	② 幼保小連携事業として「児童と園児の交流」と「教職員間での情報交換、授業参観」の両方を実施した市立小学校数	68校	68校	100.0%	A		
(6) 高校・高等教育の充実	① 市内8大学の公開講座数（講座）	87講座	60講座	69.0%	C	概ね順調	
	② 奨学金貸付基準を満たす希望者のうち貸与を受けることができた者の割合	100.0%	100.0%	100.0%	A		
3 個性的な市民文化・都市文化を創造する							
(1) 文化活動環境の充実	① 市民芸術祭 ジュニア芸術祭の参加者数	140,000人	137,532人	98.2%	A	概ね順調	
	② 文化会館自主事業参加者数	94,200人	41,932人	44.5%	—		
	① 文化財保存団体数	52団体	52団体	100.0%	A		
(2) 文化資源の保存、継承、活用	② 文化財活用施設利用者数	127,285人	171,188人	132.9%	A	概ね順調	
	③ 個性ある文化資源活用イベント入込客数	164,660人	173,768人	104.0%	A		
4 生涯にわたるスポーツ活動を促進する							
(1) スポーツ活動環境の充実	① 20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ活動実施率	49.8%	43.2%	86.7%	B	概ね順調	
	② 地域スポーツクラブがカバーする地域数	12地域	10地域	83.3%	B		
	③ スポーツ教室の参加者数	43,000人	49,066人	114.1%	A		
(2) スポーツを支える人材の育成、団体の活性化	① スポーツ指導者研修の受講者数	780人	688人	88.2%	B	概ね順調	

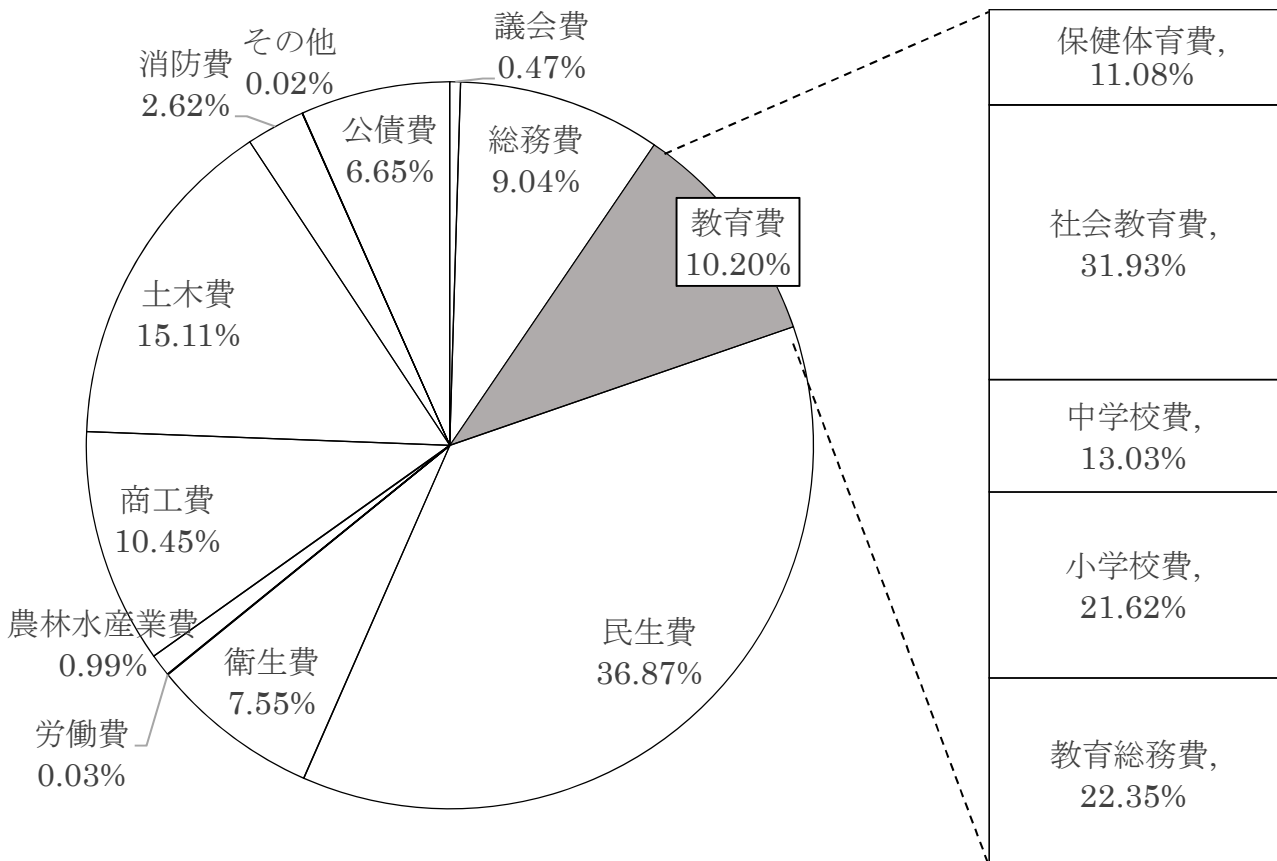
(※1) 評価 A: 達成度 90%以上 B: 達成度 70%～90%未満 C: 達成度 70%未満
 (※2) 総合評価 ① 順調(90点以上) ② 概ね順調(65点以上90点未満) ③ やや遅れている(65点未満)

【一般会計予算と教育予算】

市一般会計予算と教育予算の推移



市一般会計予算と教育予算の内訳 (平成28年度)





社会総ぐるみによる人づくりの『合言葉』

「育もう 地域の愛で 子どもの未来」

～大人が子どもの手本となり、みんなで人間力を高めます～

宇都宮市・宇都宮市教育委員会

平成29年度宇都宮市教育委員会点検・評価報告書

発行年月 平成29年8月

発行 〒320-8540

宇都宮市旭1丁目1番5号

宇都宮市教育委員会事務局（教育企画課）

電話 028-632-2707

FAX 028-639-7159

Eメール u4612@city.utsunomiya.tochigi.jp